

御殿場の教育

令和3年度



御殿場市教育委員会

御殿場市民憲章

昭和五十五年六月十三日制定

わたくしたちは、朝に夕に麗峰富士を仰ぐ
御殿場市民であることに誇りを持ち、
かおり高い文化都市への発展をめざして
この憲章を定めます。

一 わたくしたちは、郷土を愛し、
さわやかな緑のまちをつくります。

一 わたくしたちは、進んできまりを守り、
安全で住みよいまちをつくります。

一 わたくしたちは、教養をたかめ、
文化のあふれるまちをつくります。

一 わたくしたちは、たがいに助け合い、
明るいまちをつくります。

一 わたくしたちは、心身をきたえ仕事に
はげみ、豊かなまちをつくります。



御殿場市の紋章

昭和32年制定

GOTEMBAの頭文字Gを図案化。

中央に富士山を、外枠に箱根外輪山を表現し

美しい視線に囲まれた御殿場の伸びゆく

市勢と市民の協和を表現しています。

目次

○御殿場市の概要

1	御殿場市の沿革	1
2	御殿場市域と人口・世帯数	6

○教育委員会

1	委員	7
2	歴代教育委員	8
3	歴代教育委員長	9
4	歴代教育長	9
5	令和2年度教育委員会会議	10
6	教育委員会機構及び事務分掌	12

○教育行財政

1	令和3年度御殿場市教育施策	14
2	令和3年度御殿場市一般会計予算	21
3	令和3年度教育費予算	22
4	教育費の推移	23
5	児童・生徒一人当たりの教育費	23

○学校教育

1	学校教育	24
①	令和3年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想	24
②	御殿場市教育委員会学校教育課ランドデザイン	26
③	令和3年度 事業一覧表	27
④	学校・園一覧（令和3年5月1日現在）	29
	【幼稚園】	29
	【小学校】	36
	【中学校】	46
⑤	児童・生徒・園児数の推移	52
⑥	中学校卒業者の進路状況	54
⑦	日本スポーツ振興センター	55

御殿場市の概要

1 御殿場市の沿革

・はじめに

御殿場市は静岡県の北東部にあって、我が国の最高峰である富士山の東麓に位置し、美しい自然に恵まれた緑豊かな高原の都市である。かつては東海道本線として日本の近代化を担った JR 御殿場線、東京と沼津を結ぶ国道 246 号が市内を縦断し、小田原と富士吉田を結ぶ国道 138 号が市内を横断している。これら陸上交通は御殿場インターチェンジを介して市内を縦断する日本経済の大動脈「東名高速道路」と結ばれていることから、御殿場市は太平洋ベルトの東西の交通路と甲信地方との南北の交通路が合流する陸上交通の要衝となっている。

東名高速道路により東京と約 1 時間で結ばれ、都

心との間に高速バスや JR・小田急線の特急が運行されていることから、市民には進学や就職、買い物など多くの点に首都圏への強い志向が見られる。

平成 24(2012)年に新東名高速道路が御殿場 JCT から浜松いなさ JCT まで開通し、さらに令和 3(2021)年には、新御殿場 IC も開通したことにより、本市の新たな玄関口として、首都圏のみならず中京圏からの観光客が富士山や箱根といった周辺地域へ足をのぼす際の中継地、あるいは周辺地域を訪問した後に御殿場市を経由するため、国内外の観光客の増加へつながっている。

・御殿場の自然

御殿場市は海から内陸へ約 30km の距離に位置し富士山、箱根外輪山、さらには愛鷹山、丹沢山地と三方を山に囲まれた市中心部で標高約 450m の高冷地であり、県内では珍しい高原都市である。

富士山・愛鷹山と箱根外輪山の間は南の駿河湾の方向へ向けて開けた地形のため湿気を含んだ南風が入りやすく、また、富士山は標高 3,776m の独立峰が駿河湾から直接そびえ立つような地形であることから周辺は気流の変化が激しい。このような理由から富士山東麓は雲や霧が発生しやすく、年間降水量は 2,500 ミリ前後、多い年には 3,000 ミリを超える多雨で多湿な地域となっている。冬季は高冷地のため最低気温が氷点下となることが多く、太平洋側の典型的な気候のため乾燥し降水量は少ないが、冬の気圧配置が崩れると積雪が見られる。

市内の河川は、富士山と箱根外輪山からの湧水を

水源とし、鮎沢川に代表される相模湾へ注ぐ酒匂川水系と黄瀬川に代表される駿河湾へ注ぐ狩野川水系に分かれる。両水系の分水界は概ね富士山頂と箱根外輪山の丸岳を結ぶ線である。

富士山周辺は地質学的には南部フォッサマグナ地域に当たり、ユーラシアプレート・北米・フィリピン海プレートの会合部に位置する。数十万年前には箱根火山・愛鷹火山・先小御岳（せんこみたけ）火山が活動を開始し、箱根火山はカルデラと外輪山を形成しながら現在も活動を続け、愛鷹火山は約 10 万年前までに活動を終えている。先小御岳火山とは現在、富士山がある場所に最初に出現した火山であり年代は判然としないがこの火山に重なるように小御岳火山が出現し、さらに古富士火山、新富士火山と順に重なるように火山が出現し現在に至っている。

この地域の現在の地形を形成する直接的な要因は、

約 1 万 7 千年前から始まる新富士火山の活動である。国指定天然記念物駒門風穴や黄瀬川の河床に見られる溶岩は新富士溶岩流と呼ばれる約 1 万年前に噴出した溶岩流である。また、富士山の山体崩壊により約 2,900 年前に発生した御殿場岩屑（がんせつ）なだれは市内の広い範囲に堆積し、末端は足柄平野

や駿河湾沿岸部まで達した。御殿場岩屑なだれは、流れ下りながら市内各所に流れ山と呼ばれる塚を形成する一方、岩屑なだれで荒廃した山麓でたびたび放流が発生し、泥流の堆積層が水の浸透を妨げることから御殿場インター周辺には広大な沼地が形成された。

・原始から古代へ（御殿場のあけぼの）

御殿場市内において、現段階では旧石器時代の遺跡は発見されていない。現段階で最も古い遺跡は箱根外輪山の中腹で発見された縄文時代早期（6～7 千年前）の山の神遺跡である。縄文時代は気候が比較的温暖で富士山の火山活動も比較的穏やかであったらしく、広く関東一円に富士山から噴出した火山灰が風化した富士黒土層が形成された。その後、縄文時代晩期頃には富士山は火山活動が活発化し盛んにスコリアを噴出したり山体崩壊や岩屑なだれも発生したりしたため、この地域は一時的に人々が定住するのは困難な環境となったと思われる。

弥生時代に入ると再び人間の痕跡が見られるようになるが、遺跡の発見例が少なく他地方のように水田稲作が営まれていたことを示す遺跡は今のところ発見されていない。古墳時代になると先に述べた沼地の周辺に集落が形成されるようになり、この頃の代表的な遺跡として御殿場駅の東方に広がる集落遺跡の中田遺跡、古墳として大沢原古墳群がある。

8 世紀以降、律令制度による中央集権体制が確立すると都と地方を結ぶ官道が整備されていった。この地域は、都と相模国以東の諸国及び甲斐国を結ぶ古代東海道の要衝であったため、駿河国で最も大きな駅、横走（よこばしり）駅がおかれた。この頃の代表的な遺跡として南中学校周辺の永原追分遺跡がある。

平安時代は、有史時代に入って富士山の火山活動が活発であった時期であり、小規模な噴火の記録もあるが大きなものでは延暦 19（800）年、貞観 6（864）年、永保 3（1083）年の 3 回の噴火記録が残っている。

11 世紀頃から、この地域は大沼藍沢御厨（みくりや）という伊勢神宮の荘園となる。御厨という非行政広域地域名の起源はここにある。この御厨を掌握していたのは、後に東国の動乱に介入して西相模へ進出し勢力拡大を図った大森氏である。

・鎌倉時代から戦国時代へ（中世の御殿場）

鎌倉幕府成立後、建久 4（1193）年には、富士山麓を舞台に将軍源頼朝による富士の巻狩が行われ、市内にはこの巻狩に因んだ多くの伝説や地名が残っている。

承久 3（1221）年の承久の乱では、幕府軍が勝利し討幕計画に参画した貴族は捕えられ鎌倉へ護送されることとなったが、この地域にさしかかると藤原光親が籠坂峠で、藤原宗行が藍沢原で処刑されてしまったという悲話が伝えられている。

時は過ぎ鎌倉幕府が倒れ、後醍醐天皇が「建武の新政」を始めるが 2 年余りで瓦解する。中先代の乱鎮圧のため鎌倉に入り乱を平定した足利尊氏が東国を拠点に新政府へ反旗をひるがえすと、後醍醐天皇は新田義貞を総大将とした官軍を東進させた。両軍はこの地域で衝突し、竹之下（小山町）で官軍を撃ち破った足利尊氏は官軍を追ってこの地域を南下し、最終的には三島の新田義貞の本営を攻め、官軍を総崩れに追い込んだ。永原には、竹之下の戦いに敗れ

て退却する官軍と後を追う足利尊氏の軍勢が戦ったという永原古戦場の言い伝えがある。

室町幕府が成立すると、駿河国は守護大名の今川氏の領国となり、この地域は今川氏の被官である大森氏が支配していた。大森氏に関しては、大森頼春（道光）が応永 29（1422）年に寄進した石灯籠（市指定文化財）が二岡神社境内に残っている。

大森氏は頼春の時代に東国支配の拠点「鎌倉府」の内紛である上杉禅秀の乱に介入して西相模へ進出し、小田原を本拠地に東へ勢力拡大を図ったため、この地域は大森氏に代わり同族の葛山（かずらやま）氏の支配地となった。

戦国大名として有名な北条早雲は、今川家継嗣問題の内紛に介入して勢力を拡大し後北条氏の基礎を築いた人物である。この内紛は、文明 7（1475）年に遠江国の横地氏・勝間田氏を攻めた今川義忠が帰路、残党に討たれてしまったことに起因する。印野の勝間田氏は、勝間田城を有した遠江国の国人領主「勝間田氏」の子孫と言われ、今川義忠に敗れて富

士山麓へ落ち延びたと伝えられている。北条早雲は 15 世紀末に伊豆一国を平定し、さらに小田原城を攻略して大森氏を滅亡させ、2 代氏綱以降、後北条氏は小田原城を拠点に関東一円に勢力を伸ばしていった。

この地域は駿河・甲斐・相模の境界地帯であると共に交通の要衝であったことから、しばしば戦国大名が衝突し幾多の戦いに巻き込まれた。旧東海道（足柄街道）に面する深沢城跡は今川氏の築城といわれているが、永禄 12（1569）年に後北条氏の支城となり以後天正 8（1580）年にかけて武田氏と後北条氏が争奪戦を繰り広げた城である。籠城する後北条方に対して包囲する武田方が開城を迫った矢文が有名であり、丸馬出（まるうまだし）と三日月堀を備えるなど武田氏が領有した時期の武田流築城術が色濃く残る城跡として県指定史跡となっている。近年は、武田氏滅亡後に城を守備した徳川方の大改修があったとする見解もある。

・江戸時代（近世の御殿場）

関ヶ原の合戦に勝利した徳川家康は征夷大將軍となり江戸幕府を開いた。沼津代官は元和 2（1616）年にこの地域の土豪「芹澤将監（しょうげん）」に対し家康が使う御殿の造営及びその周辺に新町を建設することを命じたといわれている。家康が実際に御殿を使用することはなかったが、御殿を中心に御殿新町が生まれた。今日の「御殿場」という地名はこの「御殿」に由来している。

寛永 10（1633）年にこの地域は稲葉氏が支配する小田原藩領に組み込まれ、以後、宝永噴火により幕領化された時期を除いて慶応 4（1868）年の静岡藩引き渡しまで小田原藩領となる。江戸時代に入って 100 年も経つと、江戸の商人が技術力と経済力を身に付け、この地域でも町人請負新田が開かれたが、標高が高く痩せた土壌で、水が乏しい或いは恵まれていても湧水や溪流の水をそのまま使う冷水掛けであったことから、水稻の生産効率は高くはなかった。そのため、当時の人々は水稻耕作や畑作以外に山野へ入り秣（まぐさ）を採取して馬を養い駄賃を稼い

だり、薪炭を生産して小田原城下へ運んで現金化したりするなどの農間余業で、農業生産力の低さを補填していた。

そのような脆弱な村々を襲ったのが、宝永 4（1707）年の富士山宝永噴火である。膨大な火山噴出物は、この地域の田畑を埋め山野を覆い尽くした。領主の大久保氏は被災した領地の自力復興を断念して上知し、被災地は幕領として関東郡代伊奈半左衛門忠順（ただのぶ）が復興に着手した。伊奈半左衛門の主たる任務は、小田原藩が長年をかけて開発した穀倉地帯であり、東海道の通過点でもある足柄平野を復興させるための酒匂川普請であった。そのため、この地域の砂除川浚（すなよけかわざらい）が公儀御普請で行われることはなく、自力復興に委ねられていた。その後、火山噴出物の堆積が浅い村から順次私領へ戻され、延享 4（1747）年までに御殿場市内の村々は小田原藩領へ戻った。

被災から 80 年も経つと御厨地方も足柄平野も一定の復興を見せるが、被災以前の状態に戻ることは

なかった。時代は天明を迎え地震、飢饉など全国的に自然災害が頻発し社会不安が広がっていた。この地域の村々は、宝永噴火の後遺症を引きずり困窮を極めていた。天明3（1783）年は、前年からの天候不順続きでこの地域は大飢饉に襲われ、11月に約30か村の農民は年貢減免を願い大挙して小田原へ繰り出した。これが御厨一揆であるが、指導者の死罪など厳しい処置がとられたにも関わらず年貢は思ったほど軽減されず、農民は失望した。

この時代に生まれ、混乱が続く天保年間に小田原藩領や広く関東周辺に報徳仕法を広め農村復興に努め成果を挙げていたのが、「二宮金次郎」の名で有名

な二宮尊徳である。この地域でも、人々は村の立て直しや困窮した家の再興のため報徳仕法に取り組んだ。しかし、報徳仕法については元々藩内でも反対派が少なくとはいえず、推進していた藩主大久保忠真の死により藩の方針は報徳仕法の中止に一気に傾き、弘化3（1846）年に報徳仕法は中止となった。

幕末になると、江戸－京都間の人馬の往来が頻繁となり、年貢に加え助郷役（すけごうやく）の負担もますます増大した。慶応4（1868）年に討幕軍が江戸城に入り明治新政府が樹立されると、当地は小田原藩の支配下を離れ徳川家達が藩主である静岡藩に編入された。

・明治から昭和へ（近代の御殿場）

明治4（1871）年廃藩置県が実施されると、静岡藩は静岡県となった。明治12（1879）年には沼津に郡役所が置かれ郡制が敷かれ、新しい時代の波は御殿場村にもガス燈を灯らせることになった。また、伴野佐吉らの努力より明治16（1883）年に富士山東表口登山道が開かれ、その後の別荘地化と相まってこの地域は観光地として大いに宣伝されるようになった。

明治22（1889）年は画期的な年であった。2月1日に東海道本線が開通し、御殿場停車場（御殿場駅）が設置された。4月には御厨町、富士岡村、原里村、印野村、玉穂村、高根村が発足した。一方、農作業の改良が図られ、養蚕や竹行李作りにも積極的に取り組み、小規模ながら萩原・保土沢・神場などに製糸場が作られた。明治31（1898）年には新橋－須走間に御殿場馬車鉄道が走り、大量の物資が運ばれ、特に夏期には登山客でにぎわった。この頃になると、かつて藩の方針により姿を消した報徳仕法が各村で「報徳社設立」という形で再興された。

大野原は、この地域の人々にとって豊富な植物資

源を得るための入会地である一方、緩傾斜地が広がり小高い丘が点在する地形から、近代に入ると陸軍の砲兵隊が実弾射撃の適地として実戦訓練の演習に使用するようになった。本格的な使用は、日清戦争後の明治29（1896）年の東京湾要塞砲兵隊の実弾演習に始まり、明治42（1909）年には大野原を陸軍の演習場として使用することについて協定が結ばれ、同時に滝ヶ原・板妻に廠舎が作られた。軍拡を進める当時の事情から、早くも翌年には演習場拡張のため印野村内の3集落接收の計画が持ち上がった。地元と陸軍省の交渉は約7ヶ月にも及び、最終的に印野村内の北畑集落を原里村川島田へ集落のまとまりをもって移転することで妥結したのは明治45（1912）年であった。これ以後、この地域は演習場を中心に日本陸軍との関係を深めることとなった。

大正2（1913）年原里村印野村組合が解散し、翌3（1914）年には御厨町が御殿場町と改称する。その後、大正12（1923）年の関東大震災、昭和5（1930）年からの大恐慌、第二次世界大戦とこの地域の人々は苦難の時代を経験することとなった。

・戦後（御殿場市の誕生）

昭和 20（1945）年 8 月に第二次世界大戦が終戦を迎えると、GHQ の占領下で武装解除と軍事施設の接収が行われ、新憲法制定をはじめ様々な民主化政策が実施された。教育では昭和 22（1947）年の六三制教育発足により新制中学校が誕生し、昭和 27（1952）年にはこの地域の町村にも教育委員会が設置されたが、その一方で、米軍が旧陸軍施設を接収して駐留し、以降の風紀・治安の問題が深刻な社会問題となり教育にも暗い影を落としていた。

昭和 28（1953）年 9 月「町村合併促進法」が制定され、御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村及び印野村が合併し、昭和 30 年 2 月 11 日、人口約 36,000 人の御殿場市が誕生した。翌 31（1956）年 1 月 1 日に、高根村が村をあげての希望により編入され、さらに昭和 32（1957）年 9 月 1 日、小山町の古沢地区が編入され現在に至っている。

GHQ に接収されていた旧陸軍の演習場は、昭和 32（1957）年に米軍が一部を残して引き揚げたことから、昭和 34（1959）年に地元関係者との間で「東富士演習場使用協定」が結ばれ、翌年旧陸軍の三廠舎には陸上自衛隊が常駐すると共に、演習場は自衛隊と米軍によって使用されることになった。同時に、周辺住民の生活安定と福祉向上のために、国から生活環境改善のため助成が行われるようになった。

市制発足後の発展は著しく、昭和 40 年代の高度経済成長と特に昭和 44（1969）年の東名高速道路の開通により、市の様相が一変した。わずかな地場産業と農業・観光が主であった本市に、年々各種中小企業が進出し、さらに昭和 59（1984）年には駒門工業専用地域に 10 社余の大企業が誘致され、また平成 14（2002）年には神場南工業団地も完成し、数十社の企業が誘致され首都圏を取り巻く工業地域としての発展が著しい。

また、恵まれた自然環境のもとに都市開発が進め

られ、土地区画整理事業も昭和 59（1984）年に二の岡地区、続いて平成 6（1994）年に東田中・鮎沢地区が完成し、また昭和 62（1987）年から駅前再開発事業も進められ新たな駅舎が誕生した。平成 13（2001）年からは、御殿場駅富士山口広場の整備に着手した。公園整備も盛んに進められ、平成 15（2003）年 4 月には秩父宮記念公園、永原公園、神場南公園を開園した。こうした開発に伴い人口も次第に増加し、平成 21（2009）年 4 月には 90,000 人余を擁するに至った。

平成 23（2011）年 4 月に御殿場市富士山交流センター、通称名「富士山樹空の森」を開園した。この施設は、富士山情報の発信や地域交流スペース等地域活性の場を設ける形の新たな観光公園施設で、小・中学生の富士山学習の場としても利用している。

御殿場市は富士山の麓にあって、美しい景観をはじめ、富士山から多くの恵みを受け、御殿場市民の生活・文化と密接に関わっている。富士山御殿場口は他の登山道に比べ、自動車で登ることのできる五合目の位置が低いため、砂走りを楽しむ下山道として多くの登山者に利用されている。

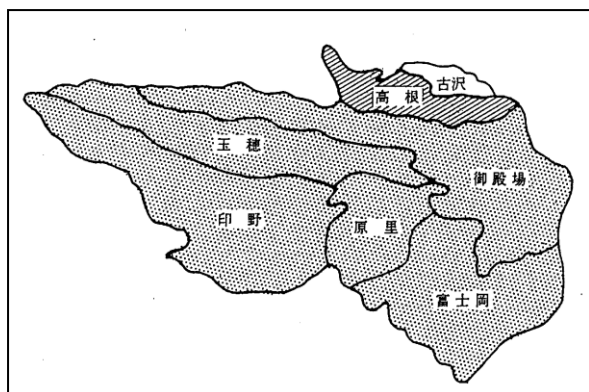
市民に愛される富士山は平成 25（2013）年 6 月 22 日、第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において世界文化遺産への登録が決定した。

平成 27（2015）年には市制 60 周年を迎え、各記念事業が行われた。その中で、御殿場市から見る富士山の魅力を内外に発信するために富士山眺望遺産 5 か所を認定した。

そして、令和 3（2021）年に開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおいて、自転車競技ロードレースでは、本市の公道がレースコースとなり、御殿場市の魅力を世界に発信する機会を得た。

このように、富士山と共生しながら「真の子育て支援日本一のまち」を目指し、日々進んでいる。

2 御殿場市域と人口・世帯数



昭和 30 年 2 月 11 日

御殿場町・富士岡村・玉穂村・印野村を廃し
市制を施行

昭和 31 年 1 月 1 日

駿東郡高根村を編入

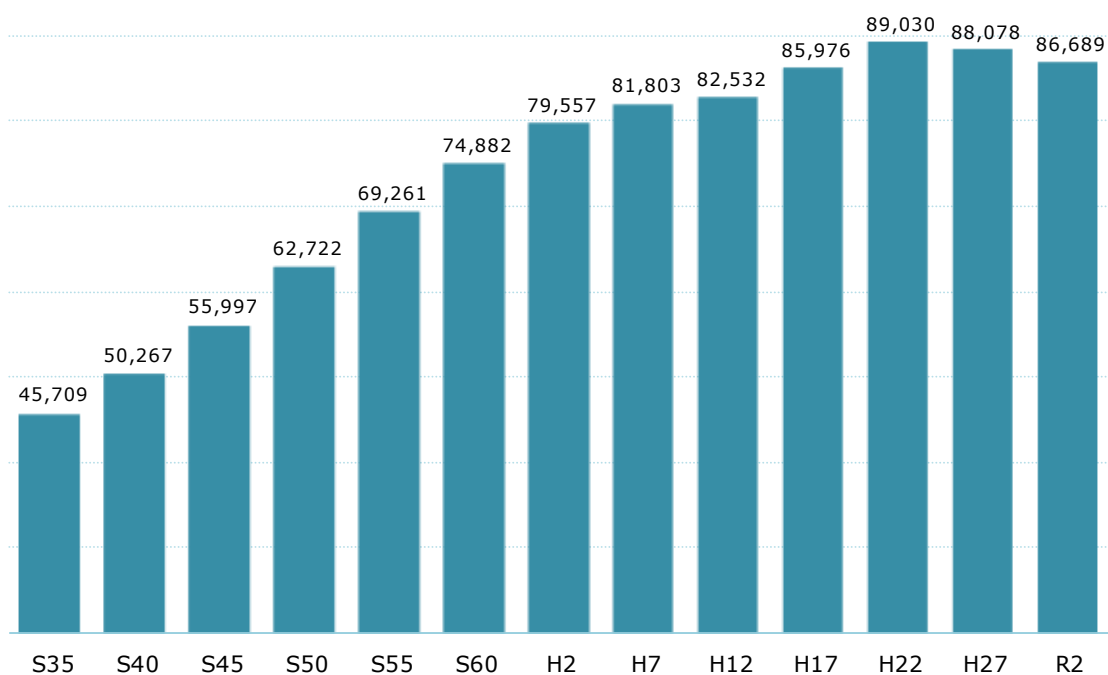
昭和 32 年 9 月 1 日

駿東郡小山町大字古沢を編入

令和 3 年 3 月 31 日現在（外国人登録者を含む）

人口	世帯数	面積	広ぼう	位置（市庁舎）
87,054 人	37,915 世帯	194.90 km ²	東西 24 km 南北 16 km	東経 138°56'06" 北緯 35°18'31" 海拔 459.8m

国勢調査人口の推移



※R2 は速報値

教育委員会

1 委員

(組織)

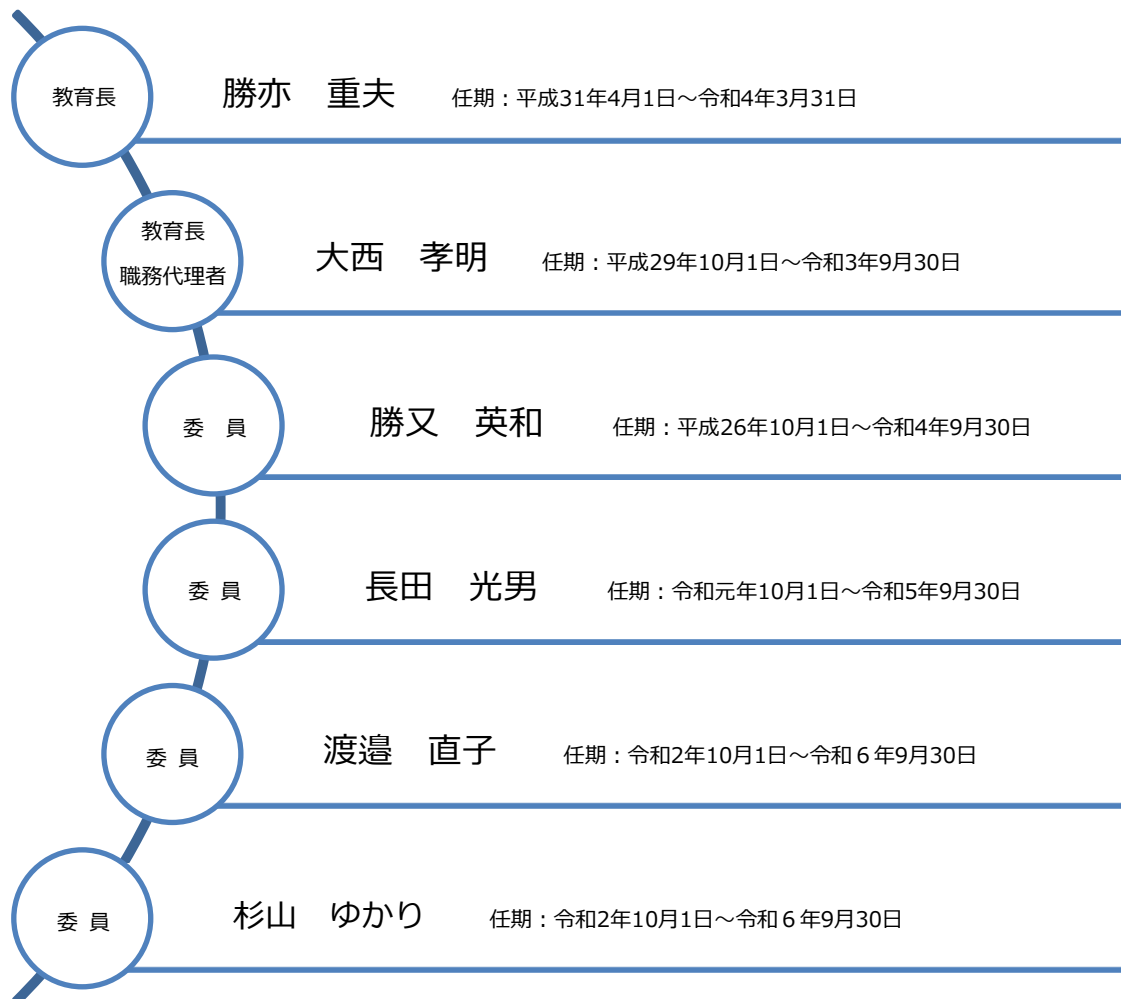
教育委員会は、教育長及び5人の委員をもって組織する。

(任命)

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。

委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。

【令和3年4月1日現在】



2 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 佼一	S30.2.11	～ S31.9.30
	S42.3.27	～ S45.9.30
芹沢 正	S30.2.11	～ S31.2
菅沼 義之	S30.2.11	～ S31.2
石田 善一	S30.2.11	～ S31.2
萩倉 千佐恵	S30.2.11	～ S31.2
池田 晋	S30.2.11	～ S31.2
杉山 鷺雄	S31.1.1	～ S31.9.30
小野 三郎	S31.2	～ S31.9.30
小宮山 嘉六	S31.2	～ S31.9.30
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S42.3.28
杉山 俊郎	S31.10.1	～ S40.3.22
芹澤 敏	S31.10.1	～ S33.8.13
根上 津奈子 (ツナ)	S31.10.1	～ S40.9.30
勝間田 実	S33.10.1	～ S34.9.9
勝間田 武衛	S34.10.1	～ S40.3.22
鈴木 孫肇	S40.3.27	～ S46.9.30
鈴木 俊助	S40.10.1	～ S52.9.30
杉山 嘉壽夫	S42.3.18	～ S51.9.30
岡田 弘	S45.10.1	～ S53.9.30
萩倉 鐵雄	S46.10.1	～ S50.6.7
杉山 藤雄	S50.7.16	～ S58.9.30
林 皓一郎	S51.10.1	～ S59.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30
永井 三郎	S52.10.1	～ S57.11.11
幾田 裕男	S57.10.1	～ H2.9.30
根上 眞一	S57.12.23	～ H5.9.30

氏名	就任年月日	退任年月日
磯邊 岩夫	S58.10.1	～ H3.9.30
石田 吉彦	S59.10.1	～ H4.9.30
芹澤 英夫	H2.10.1	～ H10.9.30
勝又 邦俊	H3.10.1	～ H11.9.30
旭 英順	H4.10.1	～ H12.9.30
横山 桂子	H5.10.1	～ H13.9.30
森岡 和鶴子	H10.10.1	～ H18.9.30
中村 貞治	H11.10.1	～ H15.9.30
杉山 正一郎	H12.10.1	～ H17.5.18
石田 和久	H13.10.1	～ H17.9.30
勝又 正敏	H17.6.15	～ H20.9.30
鈴木 芳隆	H18.10.1	～ H22.9.30
勝間田 喜明	H15.10.1	～ H23.9.30
嶋田 征子	H17.10.1	～ H25.9.30
大胡田 幸子	H20.10.1	～ H24.9.30
稲葉 宏道	H22.10.1	～ H26.3.31
小見山 司朗	H23.10.1	～ H27.9.30
岩瀬 こずえ	H24.10.1	～ H28.9.30
福島 東	H25.10.1	～ H29.9.30
勝又 英和	H26.7.1	～ 現在
勝又 綾子	H27.10.1	～ R1.9.30
芹澤 えつ子	H28.10.1	～ R2.9.30
佐藤 朋裕	H28.10.1	～ R2.9.30
大西 孝明	H29.10.1	～ 現在
長田 光男	R.1.10.1	～ 現在
渡邊 直子	R2.10.1	～ 現在
杉山 ゆかり	R2.10.1	～ 現在

3 歴代教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 佼一	S30.2.11	～ S31.1.31
	S42.10.1	～ S45.9.30
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S39.9.30
	S40.10.1	～ S42.2.28
杉山 俊郎	S39.10.1	～ S40.3.22
岡田 弘	S45.10.1	～ S53.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30
杉山 藤雄	S57.10.1	～ S58.9.30
林 皓一郎	S58.10.1	～ S59.9.30
磯邊 岩夫	S59.10.1	～ S63.9.30
幾田 裕男	S63.10.1	～ H2.9.30
根上 眞一	H2.10.1	～ H5.9.30

氏名	就任年月日	退任年月日
芹澤 英夫	H5.10.1	～ H9.9.30
旭 英順	H9.10.1	～ H10.9.30
	H11.10.1	～ H12.9.30
勝又 邦俊	H10.10.1	～ H11.9.30
横山 桂子	H12.10.2	～ H13.9.30
中村 貞治	H14.10.1	～ H15.9.30
森岡 和鶴子	H13.10.1	～ H14.9.30
	H15.10.1	～ H18.9.30
勝間田 喜明	H18.10.1	～ H23.9.30
嶋田 征子	H23.10.1	～ H25.9.30
稲葉 宏道	H25.10.1	～ H26.3.31
小見山 司朗	H26.7.1	～ H27.9.30
勝又 英和	H27.10.1	～ H28.3.31

※平成27年4月1日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成28年3月31日をもって教育委員長職は廃止された。

4 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 秀丸	S30.3.14	～ S39.9.30
土屋 一夫	S39.10.1	～ S47.9.30
土屋 隆	S47.10.1	～ S55.9.30
芹澤 榮一	S55.10.1	～ S63.9.30
鈴木 賢治	S63.10.1	～ H8.9.30
吉川 桂二	H8.10.1	～ H12.9.30

氏名	就任年月日	退任年月日
細谷 旭	H12.10.2	～ H16.9.30
三井 米木	H16.10.1	～ H24.9.30
勝又 將雄	H24.10.1	～ H28.3.31
※勝又 將雄	H28.4.1	～ H31.3.31
勝亦 重夫	H31.4.1	～ 現在

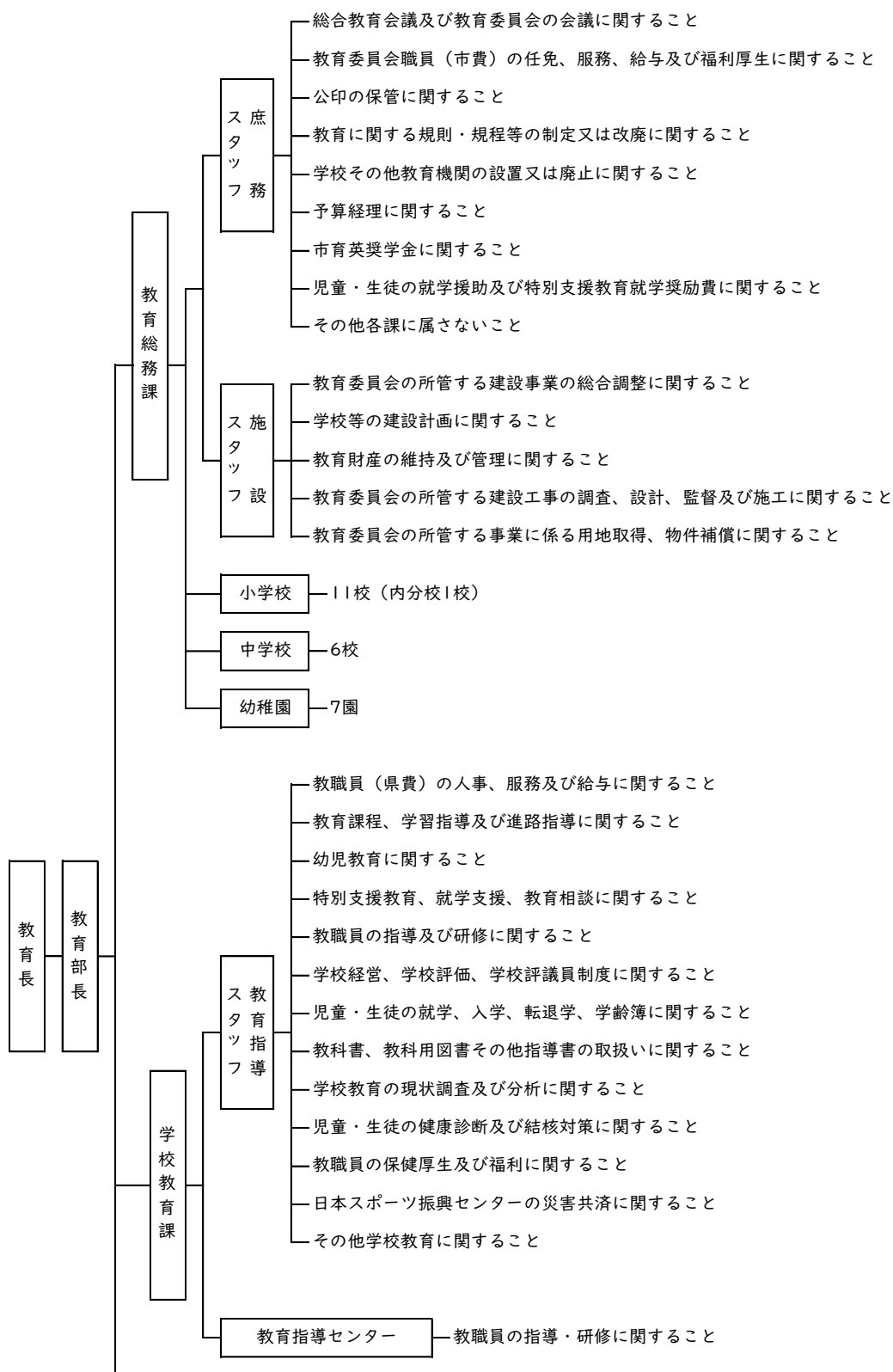
※平成27年4月1日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成28年4月1日より新教育長に任命された。

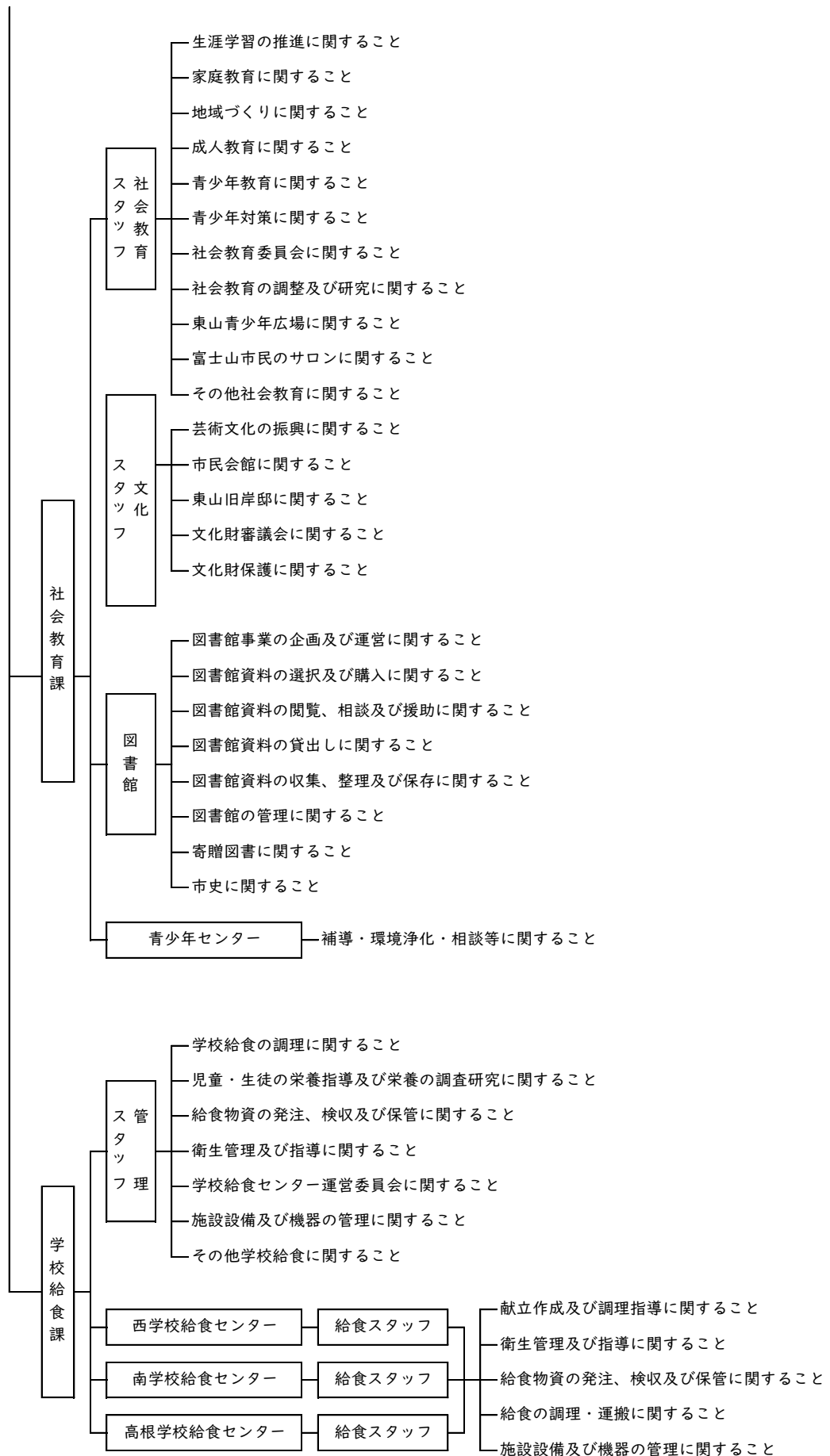
5 令和2年度教育委員会会議

4.21	定例	
	御教議第14号	令和2年度御殿場市教育施策について
	御教議第15号	学校医及び学校薬剤師の委嘱について
	御教議第16号	地域学校協働活動推進員の委嘱について
	御教議第17号	文化財審議会委員の委嘱について
	御教議第18号	御殿場市教育委員会職員職名規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第19号	令和2年度就学援助について
	御教議第20号	青少年補導委員の委嘱について
5.19	定例	
	御教議第21号	御殿場市立学校設置審議会委員の委嘱について
	御教議第22号	御殿場市立学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第23号	御殿場市立学校専門相談医制度運営懇話会構成員の委嘱又は任命について
	御教議第24号	御殿場市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第25号	御殿場市社会教育委員の委嘱について
	御教議第26号	御殿場市青少年問題協議会委員の委嘱について
	御教議第27号	御殿場市スポーツ推進審議会委員の委嘱又は任命について
	御教議第28号	令和2年度就学援助について
6.22	定例	
	御教議第29号	御殿場市立学校専門相談医の委嘱について
	御教議第30号	御殿場市立学校結核対策委員会委員の委嘱について
	御教議第31号	学校歯科医の委嘱について
	御教議第32号	御殿場市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について
	御教議第33号	御殿場市子ども読書活動推進会議委員の委嘱又は任命について
	御教議第34号	令和2年度就学援助について
7.21	定例	
	御教議第35号	令和2年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について
	御教議第36号	令和3年～6年度使用の中学校教科用図書の採択について
	御教議第37号	令和2年度就学援助について
8.21	定例	
	御教報第1号	令和元年度御殿場市一般会計決算（教育費）について
	御教議第38号	令和2年度御殿場市一般会計補正予算（第8号）について
	御教議第39号	御殿場市学校給食衛生管理改善事業補助金交付要綱について
	御教議第40号	令和2年度特別支援教育就学奨励費について
	御教議第41号	令和2年度就学援助について
9.18	定例	
	御教議第42号	御殿場市立図書館等整備基本構想（案）におけるパブリックコメントの実施について

10.1	臨時	
	御教報第2号	御殿場市教育委員会教育長職務代理者の指名について
10.21	定例	
	御教議第43号	令和2年度就学援助について
11.19	定例	
	御教議第44号	令和2年度就学援助について
	御教議第45号	令和2年度特別支援教育就学奨励費について
	御教議第46号	御殿場市指定文化財の指定について
	御教議第47号	特別支援学級の新設及び通学区域の変更指定について
12.21	定例	
	御教議第48号	御殿場市富士山市民のサロン条例施行規則（案）について
	御教議第49号	令和2年度就学援助について
1.21	定例	
	御教議第1号	令和2年度就学援助について
2.22	定例	
	御教議第2号	令和3年度御殿場市一般会計当初予算について
3.18	定例	
	御教議第3号	御殿場市立小・中学校の通学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第4号	御殿場市立学校処務規程の一部を改正する訓令甲の制定について
	御教議第5号	学校産業医の委嘱について
	御教議第6号	御殿場市指定文化財の指定について
	御教議第7号	御殿場市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第8号	御殿場市富士山市民のサロン条例の施行期日を定める規則について
	御教議第9号	御殿場市富士山市民のサロン条例施行規則の施行期日を定める規則について
	御教議第10号	令和3年度就学援助について
3.17	臨時	
	御教議第11号	令和3年度御殿場市教育委員会職員の人事異動について
	御教議第12号	令和3年度県費負担教職員の人事異動について
	御教議第13号	令和3年度御殿場市会計年度任用職員の任命について

6 教育委員会機構及び事務分掌





教育行財政

1 令和3年度御殿場市教育施策

・基本方針・

本年度の御殿場市の教育は、「御殿場市教育大綱」の政策方針である、「富士山のように大きな心を持った人づくり」の実現に向けて、「御殿場市教育振興基本計画」に掲げる各種施策を推進します。

学校教育では、児童・生徒、保護者や地域との信頼関係を築き、安全安心な学校生活の中で、確かな学力の向上、幼・保・こども園及び小・中の連携・一貫を基盤に、特別支援教育、道徳教育、生徒指導の充実、一人一台タブレット等のICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両立、人間形成の基礎を育てる幼稚園教育の充実、そしてそれらを推進する力となる教職員の資質向上に努めます。また、小中学校の施設改修、教育備品の充実に努め、より良い学習環境の維持・整備に努めます。

社会教育では、地域づくりの推進や家庭教育力の向上に努めるとともに、青少年センターを中心とした青少年補導等の青少年対策事業に引き続き取り組んでまいります。また、市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進し、社会教育の推進を図るため、令和3年4月にオープンした「けやきかん」について、生涯学習の拠点となるよう活用していきます。図書館は、市民の生涯学習や情報の拠点として、引き続き蔵書の充実と、利用者サービスの更なる向上に努めると共に、新図書館等整備事業を推進します。

芸術文化の振興は、文化施設の環境整備・有効活用に努めると共に、市民を主役とした「ごてんば市民芸術祭」等の事業を推進します。また、文化財につきましては、保存と活用に努め、世界文化遺産である富士山については、県・裾野市と共同で須山口・御殿場口の巡礼路調査に取り組めます。

学校給食は、徹底した衛生管理のもと、安全安心かつ魅力ある給食づくりに努めます。そして、「ごてんばこめカレー」や「ごてんばこめこハヤシ」の提供等を通じて給食の時間を充実した体験の場とし、楽しい食習慣の育成に努めると共に、子育て支援策の一環として、学校給食費助成事業を継続的に実施します。また、施設整備等については、施設の改修を計画的に実施し、有効活用を図っていきます。

市民総がかりによる子育て支援の輪を広げるため、「子ども条例」及び「子ども条例行動計画」の周知、働きかけを積極的に行い、特に「いじめ」については、「御殿場市いじめ防止基本方針」を基に、いじめの未然防止と共に早期発見、早期解決を図り、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように引き続き努めます。

・重点政策・

- | | | |
|--------------|------------------|---------------|
| 1, 人を育む環境の充実 | 2, 生涯学習と地域活動の推進 | 3, 芸術・文化活動の振興 |
| 4, 歴史と文化の継承 | 5, 多文化共生と国際交流の推進 | |

重点政策 1 人を育む環境の充実

主要施策1 乳幼児期における教育の充実

- ・幼稚園教育充実のための支援
- ・幼児教育の充実のための指導員の配置
- ・乳幼児期の豊かな育ちの支援

主要施策2 豊かな感性を育む教育の充実

- 【1】豊かな感性を育む教育
 - ・社会性とモラルを育む教育活動の充実
 - ・学校等の連携・一貫教育の実施
 - ・各補助者等による支援事業の充実
 - ・個々のニーズに応じた教育支援体制の整備
 - ・いじめの未然防止・早期発見等に向けた対応の充実
- 【2】確かな知性を育む教育
 - ・教育の情報化の推進
 - ・地域に根ざした環境教育の推進
 - ・全国学力・学習状況調査の活用
 - ・子どもたちと向き合う時間を拡充するための学年事務加配
- 【3】健やかな心身を育む教育
 - ・子どもたちの心身の健康を支える保健室経営と学校専門相談医の活用
 - ・運動習慣の定着
 - ・食育の充実
 - ・危機管理対応

主要施策3 キャリア教育の充実

- ・職場体験を通じた社会人・職業人としての「生きる力」の育成
- ・夢とあこがれを育てる夢創造事業の実施
- ・性別に捉われない価値観の醸成

主要施策4 開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進

- ・教育課程の改善を目指した自己評価・学校関係者評価の実施
- ・中学校区ごとの育ちの目標の共有化と目標実現のための取組の実施
- ・教育相談体制の充実
- ・就学援助制度等の推進
- ・コミュニティ・スクールの推進

主要施策5 教職員・指導者の人材確保・育成

- ・御殿場市教育フォーラム等の各種研修会の実施
- ・市研究指定校による研究推進・自主発表会の開催
- ・教育指導センターの円滑な運営
- ・指導主事の指導・支援による校内研修の活性化

主要施策6 学校などの教育施設・設備の充実

- ・校舎改築事業（西中学校屋内運動場）
- ・環境整備事業（御殿場小）
- ・ICT を活用した教育の推進と機器の整備

主要施策7 学校給食の充実

- ・地場産品の利用促進
- ・給食だより・給食献立表の発行
- ・安全・安心な学校給食の提供

主要施策8 高等教育等の支援の推進

- ・魅力ある高等教育・学術の支援

主要施策9 家庭教育力、地域教育力の向上

- ・家庭教育力の向上
- ・地域教育力の向上

主要施策10 青少年の健全育成

- ・青少年センター事業の推進
- ・体験の場の提供

重点政策2 生涯学習と地域活動の推進

主要施策1 学習機会の提供、学習成果の発信

- ・学習機会の提供
- ・学習成果の発信

主要施策2 地域づくり活動の支援

- ・地域づくり活動にかかる人材育成
- ・地域づくり活動学習講座の開催

主要施策3 社会教育関係団体等の活動支援

- ・社会教育関係団体の育成
- ・生涯学習に取り組む団体の支援

主要施策4 図書館機能の充実

- ・蔵書の充実と読書の推進
- ・各種サービスの充実
- ・ボランティア及び近隣図書館・学校図書館との連携
- ・新図書館等整備事業

重点政策3 芸術・文化活動の振興

主要施策1 芸術・文化活動機会の充実

- ・鑑賞機会の充実
- ・創作・発表の機会の充実
- ・次世代の担い手対策の充実

主要施策2 芸術・文化活動体制の強化

- ・活動団体の体制強化
- ・地域及び企業、他分野との連携

主要施策3 芸術・文化活動基盤の確保

- ・文化施設の機能向上
- ・文化施設の有効活用
- ・施設管理者との連携強化

重点政策4 歴史と文化の継承

主要施策1 歴史と文化の調査・研究と支援

- ・文化財保護の啓発
- ・指定文化財の保護と活用
- ・埋蔵文化財の調査
- ・神社棟札調査の継続

主要施策2 文化財等の公開・展示と活用

- ・阿部雲気流博物館資料の整備・活用
- ・文化財に親しむ市民の拡大
- ・新図書館における郷土資料館機能

主要施策3 世界遺産富士山の保全と啓発

- ・世界遺産富士山の保全
- ・世界遺産富士山の保全・啓発に向けた活動の支援
- ・富士山巡礼路調査の実施

主要施策4 郷土資料館の整備

- ・郷土資料館の検討
- ・民俗資料収蔵庫内資料の整理・活用

重点政策5 多文化共生と国際交流の推進

主要施策1 多文化共生の推進

- ・外国人児童生徒適応指導のための人員の配置
- ・外国人児童生徒の支援・指導の充実
- ・多文化を理解する教育の推進

主要施策2 国際姉妹都市及び諸外国との交流の推進

- ・都市間における国際協力の推進
- ・交流事業の推進

主要施策3 国際化に対応できる人材の育成

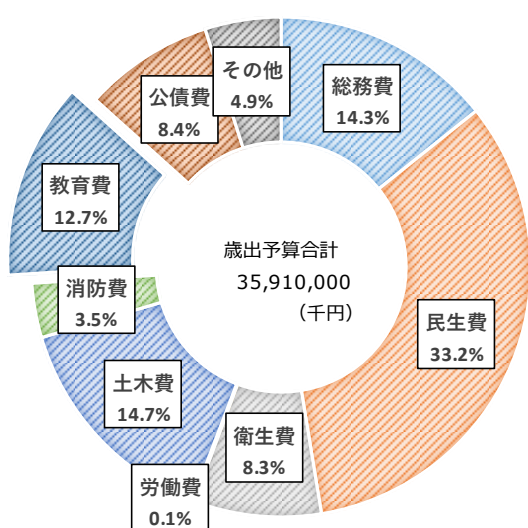
- ・語学力・コミュニケーション能力等の向上
- ・青少年海外教育交流事業の推進
- ・ボランティアの充実
- ・国際理解の推進

2 令和3年度御殿場市一般会計予算

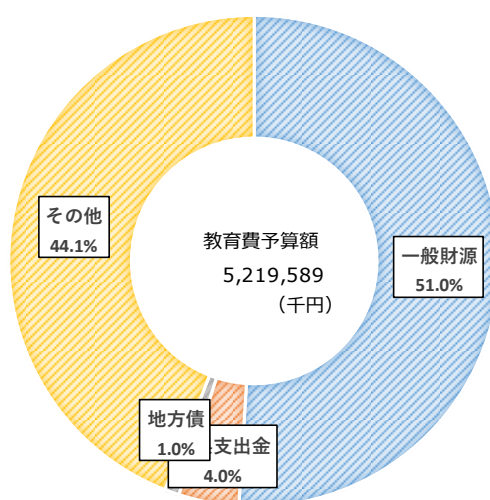
(単位：千円)

区分	本年度 予算額	前年度 予算額	本年度予算額の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
議会費	231,001	231,325			714	230,287
総務費	5,021,420	4,512,864	317,526	13,100	1,337,785	3,353,009
民生費	11,679,308	11,696,116	4,918,076		1,490,144	5,271,088
衛生費	2,908,321	2,759,105	238,581		1,039,546	1,630,194
労働費	41,098	84,566	750		181	40,167
農林水産業費	813,072	1,074,234	190,943	66,100	135,897	420,132
商工費	589,339	593,156	1,857		149,203	438,279
土木費	5,161,629	5,474,602	671,939	997,700	1,627,686	1,864,304
消防費	1,236,999	1,258,981	16,089		46,363	1,174,547
教育費	4,478,153	5,219,589	177,842	42,900	1,973,503	2,283,908
災害復旧費	162	193				162
公債費	2,959,300	2,929,767			19,818	2,939,482
諸支出金	1	1				1
予備費	100,197	75,501				100,197
歳出合計	35,220,000	35,910,000	6,533,603	1,119,800	7,820,840	19,745,757

区分別歳出予算比率



教育費の財源内訳

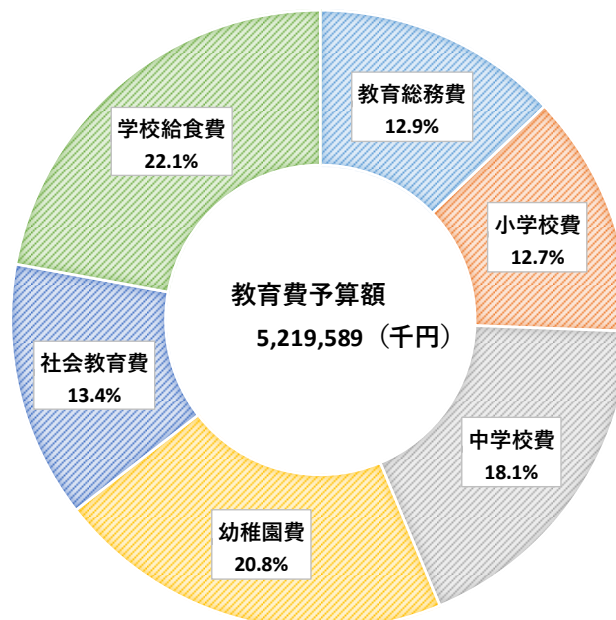


3 令和3年度教育費予算

本年度予算額の財源内訳
(単位：千円)

区分	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	前年度比	特定財源			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他	
10.教育費	4,478,153	5,219,589	△ 741,436	177,842	42,900	1,973,503	2,283,908
1.教育総務費	577,210	585,456	△ 8,246	31	0	187,718	389,461
1.教育委員会費	2,925	2,966	△ 41	0	0	0	2,925
2.事務局費	312,349	319,566	△ 7,217	0	0	36,639	275,710
3.教育指導費	261,936	262,924	△ 988	31	0	151,079	110,826
2.小学校費	568,552	1,096,071	△ 527,519	2,683	8,100	297,052	260,717
1.学校管理費	316,553	1,019,596	△ 703,043	0	8,100	191,556	116,897
2.教育振興費	251,999	76,475	175,524	2,683	0	105,496	143,820
3.中学校費	810,603	1,103,841	△ 293,238	2,054	30,600	572,140	205,809
1.学校管理費	189,974	755,732	△ 565,758	0	0	95,010	94,964
2.教育振興費	144,635	112,924	31,711	2,054	0	48,897	93,684
3.西中学校校舎改築事業費	475,994	235,185	240,809		30,600	428,233	17,161
4.幼稚園費	931,199	921,585	9,614	170,792	0	367,164	393,243
1.幼稚園費	931,199	921,585	9,614	170,792	0	367,164	393,243
5.社会教育費	600,335	474,512	125,823	2,282	0	189,226	408,827
1.社会教育総務費	234,884	205,923	28,961	2,182	0	72,662	160,040
2.文化財費	16,412	11,153	5,259	100	0	6,836	9,476
3.図書館費	178,556	91,085	87,471	0	0	95,506	83,050
4.芸術文化振興費	170,483	166,351	4,132	0	0	14,222	156,261
6.学校給食費	990,254	1,038,124	△ 47,870	0	4,200	360,203	625,851
1.給食センター運営費	990,254	1,038,124	△ 47,870	0	4,200	360,203	625,851

区分別歳出予算比率

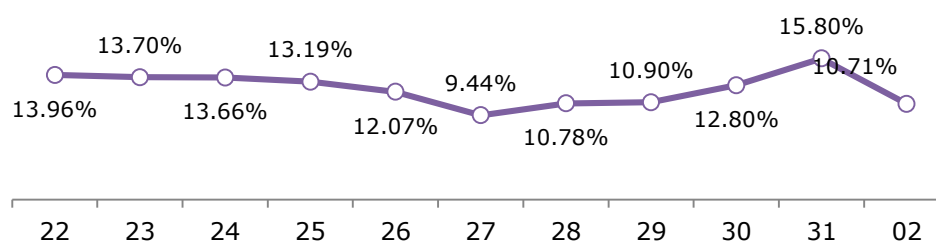


4 教育費の推移

(単位：千円)

年度	一般会計決算額	教育費決算額	比率
22	35,492,893	4,953,195	13.96%
23	37,181,412	5,093,787	13.70%
24	34,925,755	4,772,460	13.66%
25	34,871,675	4,600,010	13.19%
26	34,398,000	4,150,999	12.07%
27	35,613,104	3,363,467	9.44%
28	37,963,558	4,092,219	10.78%
29	36,560,257	3,986,279	10.90%
30	38,419,665	4,916,087	12.80%
31	38,342,348	6,057,447	15.80%
02	49,612,834	5,314,959	10.71%

※決算書より



5 児童・生徒一人当たりの教育費

区分\年度	25	26	27	28	29	30	31
小学校費	358,387	225,543	135,326	229,310	142,177	149,308	258,703
中学校費	166,605	132,581	98,716	114,255	123,151	591,242	775,658
幼稚園費	538,934	485,052	637,171	844,670	1,035,043	1,112,132	1,381,072

※決算書より

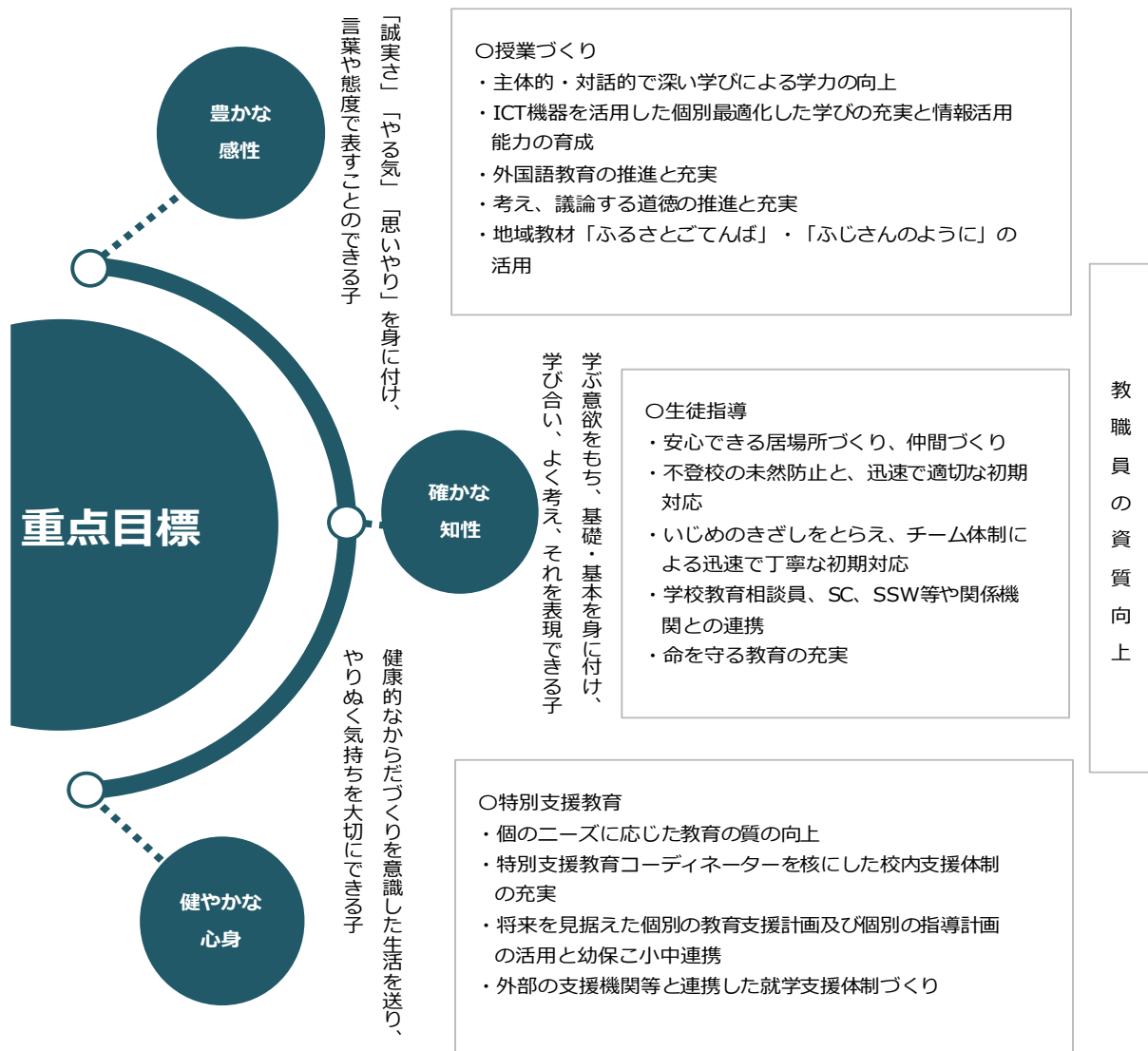
学校教育

1 学校教育

① 令和3年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想

◆目指す教育

御殿場市子ども条例の基本理念にのっとり、全ての子供の幸せと健やかな成長を目指すため、社会とともにある魅力ある学校づくりを推進する。



◆重点目標達成率（令和２年度目標値）





令和3年度御殿場市学校教育課グランドデザイン

基本目標

御殿場市子ども条例の基本理念にのっとり、全ての子供の幸せと健やかな成長を目指すため、社会とともにある魅力ある学校づくりを推進する。

重点目標

豊かな感性

「誠実さ」「やる気」「思いやり」を身に付け、言葉や態度で表すことのできる子

確かな知性

学ぶ意欲をもち、基礎・基本を身に付け、学び合い、よく考え、それを表現できる子

健やかな心身

健康的なからだづくりを意識した生活を送り、やりぬく気持ちを大切にできる子

学校が楽しい 95% 授業がよくわかる 90% 計画を立てて家庭学習をしている 85%
 気持ちのよい挨拶ができる 93% 進んでありがとうと言える 95%
 自分にはよいところがある 90% 目標に向かって努力する 90%

目標達成に向けての重点

授業づくり

- ◇主体的・対話的で深い学びによる学力の向上
- ◇ICT 機器を活用した個別最適化した学びの充実と情報活用能力の育成
- ◇外国語教育の推進と充実
- ◇考え、議論する道徳の推進と充実
- ◇地域教材「ふるさとごてんば」「ふじさんのように」の活用

生徒指導

- ◇安心できる居場所づくり、仲間づくり
- ◇不登校の未然防止と、迅速で適切な初期対応
- ◇いじめのきざしをとらえ、チーム体制による迅速で丁寧な初期対応
- ◇学校教育相談員、SC、SSW 等や関係機関との連携
- ◇命を守る教育の充実

特別支援教育

- ◇個のニーズに応じた教育の質の向上
- ◇特別支援教育コーディネーターを核にした校内支援体制の充実
- ◇将来を見据えた個別的教育支援計画及び個別の指導計画の活用と幼保こ小中連携
- ◇外部の支援機関等と連携した就学支援体制づくり

教職員の資質向上

- ◇教育指導センターの訪問指導の充実
- ◇市の指定研究を核とした研究の推進
- ◇指導主事との連携による校内研修の活性化

- ◇キャリアステージに応じた研修の充実
- ・御殿場市教育フォーラム
- ・教育論文への計画的な取組
- ・教師力向上講座・若手臨時講師研修

- ◇主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善への具体的な取組の推進
- ◇市教育刊行物による発信
- ・ブックレット ・学校教育課だより

地域に開かれた特色ある教育課程の推進 SDGsを意識して

誰一人取り残さない教育

- ◇課題や困難を抱える子どもへのきめ細かな対応
- ◇SDGs の視点を踏まえた質の高い教育の推進
- ・環境教育 ・国際理解教育
- ・平和教育 ・人権教育
- ・キャリア教育 ・食育 等
- ◇持続可能な社会の創り手の育成

異校種や地域との連携・協働

- ◇教職員同士・子ども同士の積極的な交流や情報の共有
- ◇スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムづくりによる幼児教育と義務教育の接続
- ◇コミュニティ・スクール事業の推進
- ◇地域の実情に応じた中学校区ごとの特色ある教育課程の編成

東京オリンピック・パラリンピック

- ◇東京オリンピック・パラリンピックを存分に味わい、スポーツに対する興味・関心を高める
- ◇市役所関係課と連携したオリパラ文化プログラムの推進
- ◇障害スポーツへの理解や障害者との共生
- ◇スポーツへの取組を通じた基礎体力の向上

③ 令和3年度 事業一覧表

事業名	内容	予算(千円)
健康管理事業	学校教育法及び学校保健安全法による園児・児童・生徒定期健診、次年度の入園・入学予定者に入園児・就学時健康診断を実施する。並びに、教職員を対象とした生活習慣病健診・指定年齢健診・人間ドックを実施する。	28,925
教育相談事業	いじめ問題や不登校児童・生徒の解消を図るため、中学校区ごとに相談員を配置し、児童・生徒の悩み等を聞いて励ます体制を整え、元気に登校できるよう支援活動を実施する。また、子どもを取り巻く環境に着目し、問題解決に向かう方策を立てるスクールソーシャルワーカーを配置する。	17,405
外国人児童生徒 適応指導事業	小・中学校に在籍する外国人を対象に日本語指導、日常生活への適応指導・相談活動等のできる指導員を3名派遣し、学校生活への円滑な適応を図る。	7,795
学校教育充実事業	特別支援学級・情緒通級指導教室・保健室・学校図書館補助者を各小中学校に配置し、学校教育の充実を図る。	95,129
特別支援教育 推進事業	通常の学級に在籍する発達障害の児童生徒の把握と支援のための一環として、教育委員会に専門家チームを組織し、特別支援巡回指導員を交え、各学校の個別支援計画をより精度の高いものにするための指導助言をする。	2,037
発達障害児支援事業	通常の学級に在籍する発達障害児の中で、特別な支援を必要とする児童生徒の多い学級に支援員を派遣し、個別の支援を行う。	40,821
魅力ある学びづくり 推進事業	多忙化する教職員が児童生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できるよう、事務的な業務を支援する会計年度任用職員を大規模校中心に配置する。	11,788

事業名	内容	予算（千円）
教育指導センター事業	教職員の授業力や指導力の更なる向上のため、教育指導員が学校を訪問し、個人への指導・支援を行う。また、当市の教育力向上のための調査分析等を行う。（学校教育課内に設置）	14,096
夢創造事業	心豊かな人づくりを目的とし、講演会や鑑賞会、体験活動等、各学校が子どもの実態に基づき特色ある事業を実施し、情操教育や生き方教育の有効な手立てとする。	2,448
教育研究指定校交付金交付事業	スタート カリキュラム 研究指定校	73
	学力向上 研究指定校	73
	コミュニティ スクール 研究指定校	73
	授業改善 （ICT 活用） 研究指定校	73
外国人英語指導者（ALT）配置事業	市内 6 中学校・10 小学校に、外国人指導者（ALT）12 名をそれぞれ派遣し、英語教育の充実を図るとともに、いろいろな場面で身近に外国人と接し、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を養成する。	55,845
幼児教育支援事業	幼児教育の充実、幼稚園・保育園・小学校との連携、家庭教育の在り方についての推進を図る。	113
学校運営協議会運営事業	市内小中学校に学校運営協議会を順次設置していき、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を推進する。	492

④ 学校・園一覧（令和3年5月1日現在）

【幼稚園】

御殿場幼稚園					
住所	〒412-0021 二枚橋 260-1	3 歳児	男子 25 人	女子 30 人	
電話	82-0037	4 歳児	男子 22 人	女子 27 人	
園長	岩澤 弘子	5 歳児	男子 35 人	女子 45 人	
教頭	勝又 しのぶ 浅井 淳	職員数	25 人		

園教育目標

意欲をもって取り組む子

重点目標

自分からかかわりやってみよう！

具体策

○豊かな心を育む保育

- ・人とかかわる力の育成
- ・実体験の充実
- ・絵本に触れる機会の充実

○主体性を育む保育

- ・遊びがにつながる環境の工夫
- ・考えたり試したりする場の工夫
- ・興味や意欲を高める保育の工夫

○たくましさを育む保育

- ・年齢に応じた生活習慣の確立
- ・基礎体力を育む保育の工夫
- ・あきらめない心の育成

研究主題

遊びや活動に主体的にかかわる保育の工夫

原里幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 1917-2	3 歳児	男子 11 人 女子 9 人
電話	89-0766	4 歳児	男子 9 人 女子 9 人
園長	水口 美絵	5 歳児	男子 12 人 女子 13 人
教頭	滝口 美香	職員数	9 人

園教育目標

やってみようとする子

重点目標

自ら考えよう

具体策

○思いやりのある子

- ・コミュニケーション能力の育成
- ・感動体験
- ・異年齢や地域の園・学校との継続的な交流

○元気に遊ぶ子

- ・基本的生活習慣の確立
- ・体力作り
- ・集団遊びの充実

○考える子

- ・聞く力・表現する力の育成
- ・協同的な遊びの充実

研究主題

自分の思いも相手の思いも大切にできる子を育てる保育の工夫

原里西幼稚園

住所	〒412-0048 板妻 101-6	3 歳児	男子 1 人 女子 0 人
電話	89-2118	4 歳児	男子 4 人 女子 4 人
園長	大津 裕美	5 歳児	男子 1 人 女子 8 人
教頭	山根 ゆきの	職員数	6 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

自ら考えかかわろう！

具体策

○からだ 元気に遊ぶ子

- ・ 基本的生活習慣の育成
- ・ 食育
- ・ 体力づくり
- ・ 環境整備

○まなび 考える子

- ・ じっくり聞く・話す・話し合う
- ・ 試行錯誤
- ・ 絵本に触れる

○こころ 思いやりのある子

- ・ 挨拶
- ・ 異年齢活動
- ・ 地域の園や学校との継続的な交流
- ・ 自然とのふれあい

研究主題

主体的・対話的な学びをつくりだす保育の工夫

玉穂幼稚園

住所	〒412-0006 中畑 426-1	3 歳児	男子 8 人 女子 12 人
電話	89-2226	4 歳児	男子 12 人 女子 12 人
園長	望月 尚美	5 歳児	男子 14 人 女子 8 人
教頭	土屋 陽正	職員数	10 人

園教育目標

にこにこ もりもり 元気な子

重点目標

興味をもってやってみよう

具体策

○自己発揮体験

- ・主体的に遊びに取り組むための環境と援助の工夫
- ・戸外環境を活かした遊び
- ・聞く力、話す力の育成
- ・基本的技能の習得

○人と関わる豊かな体験

- ・自分や友達のよさに気づき、仲間意識を育む活動
- ・触れ合う心地よさを感じる活動
- ・地域交流

○元気アップ体験

- ・あいさつ・返事
- ・体力・持久力の定着
- ・基本的生活習慣の定着
- ・食育

研究主題

主体性を育み、やってみたくなる環境や援助の工夫

富士岡幼稚園

住所	〒412-0037 中清水 119	3 歳児	男子 5 人 女子 16 人
電話	87-0642	4 歳児	男子 4 人 女子 12 人
園長	伊藤 昭子	5 歳児	男子 9 人 女子 9 人
教頭	—	職員数	9 人

園教育目標

心身ともにたくましい子

重点目標

しっかりきいてこつこつやってみよう

具体策

○学び合える遊びの体験

- ・ともだちタイム
- ・環境の工夫
- ・伝えあいの場の充実
- ・試行錯誤する遊び

○感性を豊かにする体験

- ・自然を活かした活動
- ・挨拶
- ・家族ふれあいデイ
- ・絵本を通して豊かな心を育てる

○たくましさ育てる体験

- ・基本的生活習慣の確立
- ・黙動（身の周りの始末・掃除）
- ・チャレンジタイム
- ・歩く体験
- ・食育（栽培・給食）

研究主題

しっかりきいてこつこつやってみようとする子を育てる保育の工夫

森之腰幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 451-3	3 歳児	男子 20 人 女子 21 人
電話	82-2593	4 歳児	男子 24 人 女子 26 人
園長	田代 一美	5 歳児	男子 18 人 女子 19 人
教頭	芹澤 由美子	職員数	15 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

何でも楽しんでやってみよう

具体策

○学びを育む

- ・聞く力・話す力の育成
- ・主体的に遊ぶための環境
- ・つながりのある遊びの充実

○豊かな心を育む

- ・身近な自然環境を生かした遊び
- ・地域と共に育む
- ・園内交流の充実

○心身を育む

- ・自立できる子を目指す
- ・気力、体力のつく遊びの充実

研究主題

何でも楽しんでやってみる子を育む保育の工夫

竜幼稚園

住所	〒412-0039 竜 154-1	3 歳児	男子	3 人	女子	4 人
電話	83-4144	4 歳児	男子	3 人	女子	2 人
園長	大屋 美佐	5 歳児	男子	6 人	女子	4 人
教頭	—	職員数	6 人			

園教育目標

瞳きらきら かまどの子

重点目標

さいごまで がんばろう

具体策

- 生きる力の基礎を育む
 - ・身体を動かす遊びの充実
 - ・聞く話す力の育成
 - ・生活習慣の確立
- 園環境を活かした関わり
 - ・異年齢交流の工夫
 - ・身近な自然とのふれあい
 - ・地域の方との関わり
- 意欲を育む遊びの充実
 - ・継続する遊び
 - ・協同性を育む遊び
 - ・一人一人のよさを活かす保育の工夫

研究主題

たくましさを育む保育の工夫

【小学校】

御殿場小学校

住所	〒412-0042 萩原 361-1	1 年	166 人 5 学級
電話	82-0100	2 年	197 人 6 学級
校長	佐々木 直行	3 年	160 人 5 学級
教頭	丹澤 謹志	4 年	170 人 5 学級
県費教職員数	57 人	5 年	171 人 5 学級
市費教職員数	9 人	6 年	186 人 6 学級
		特別支援学級	32 人 6 学級

学校教育目標

進んで学び 高め合う 御小の子

重点目標

えがおで伝えよう 自分のこと

学校が楽しいと答える子 95%

経営目標

「御小ならではの教育」を力強く推進する学校

- ①子どもが自分の考えを持ち、伝え合いを大切にした授業が実践される学校
- ②秩序と落ち着きの中で、子どもたちの良さを認め励ます学校
- ③教師自らが自己研鑽に努め、子どもとともに汗をかける学校

信頼できる先生がいると答える子 90%

自分の意見を伝えていきますと答える子 85%

経営の重点

教科指導…授業分かると答える子 95%

- 分かる授業の追求と学力の定着
- 表現活動の充実
- 地域人材等の積極的な活用
- 特別支援教育の推進

教科外指導…元気に挨拶する子 95% 目標に向けて、粘り強く運動する子 90%

- 心を育てる実践活動
- 自分から挨拶や会釈
- 場に応じた黙動
- 笑顔あふれる学年学級づくり
- 読書活動の質の向上
- 規範意識の向上

学校運営

- 学年を縦軸、3 部会を横軸にした学校運営
- 笑顔あふれる職員集団づくり
- 「報連相報」の徹底
- 保護者や地域との連携強化
- 個に応じた支援の実施

研究分野・教科等

「伝え合う力」と「考えを深める力」の育成 全教科

研究主題

自ら伝え合いながら、考えを深めようとする子の育成

御殿場南小学校

住所	〒412-0045 川島田 580	1 年	121 人 4 学級
電話	82-0911	2 年	116 人 4 学級
校長	長房 浩	3 年	109 人 4 学級
教頭	柴田 勝好	4 年	110 人 4 学級
県費教職員数	41 人	5 年	106 人 4 学級
市費教職員数	9 人	6 年	120 人 4 学級
		特別支援学級	34 人 5 学級

学校教育目標

共に学び 進んで挑戦 思いやりいっぱい 南っ子

重点目標

よく聞き 学び合う

経営目標

安心と信頼の学校づくり

経営の重点

- (1) 明るく風通しの良い職員室 ※職員同士がよく聞き合う関係で
 - ・積極的に情報交換し、遠慮なく相談できる職員室づくりをする。
 - ・互いの長所短所を認め合い、寄り添い、なんでも伝え合うことができる職員室づくりをする。
- (2) 誰もが大切にされる（主役になれる）温かい学級づくり
 - ※教師が子供の話をよく聞く、子供同士もよく聞き合う
 - ・子供一人一人と信頼関係を結び、興味関心の異なる子供同士をつなぐ。
 - ・どの子も自己の存在感、存在価値を認識できるようにする。
- (3) 楽しく、充実した授業の展開 ※よく聞き、学び合う
 - ・子供の声に耳を傾け、様子をよく観察し、子供の発言を真剣に聞き取ろうとする。
 - ・子供の真剣に聞こうとする、本気になって伝えようとする姿を引き出す。
- (4) 保護者・地域との連携 ※保護者・地域の声に耳を傾ける
 - ・保護者との信頼関係づくりをするため、連絡を密にし、学校の様子を伝え、家庭での様子を聞き、共通認識をもって指導にあたることを大切にする。

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

生き生きと自分の考えを表現し合い、進んで学びを深める子

富士岡小学校

住所	〒412-0035 中山 161	1 年	81 人	3 学級
電話	87-1006	2 年	93 人	3 学級
校長	福島 英子	3 年	94 人	3 学級
教頭	杉山 知太朗	4 年	88 人	3 学級
県費教職員数	34 人	5 年	83 人	3 学級
市費教職員数	7 人	6 年	104 人	3 学級
		特別支援学級	22 人	4 学級

学校教育目標

共に伸びる子

重点目標

みがく「みんなで がんばる くみあげる」

経営目標

「子どもが主体的に活動する活力ある学校」～子どもが主役で 活力ある学校～

①学習をみがく学校 ②生活をみがく学校 ③感性（気づき）をみがく学校

経営の重点

- 知性をみがく子（授業が楽しい 95%、授業がわかる 95%）
 - ・基礎学力の習得 ・「学年×10 分」家庭学習
 - ・自分の考えを持ち伝える
 - ・I C T 機器の活用（電子黒板、タブレット等）
- 心身をみがく子（場に応じて黙動する 93%、進んで挨拶をする 93%）
 - ・児童会による「あいさつ運動」 ・「みがく貯金」の取組
 - ・黙動（清掃、準備、移動等）の取組 ・ボランティア活動の取組
 - ・読書活動の推進
- 感性をみがく子（自分のみがきがわかる 90%、自分のよさがわかる 88%）
 - ・「ありがとうの日」の取組
 - ・「学習」「生活」の定期的な振り返りと自己評価

研究分野・教科等

学習課題づくり・学級集団づくり（全教科・領域）

研究主題

共に学び合い、思いや考えを豊かにする子の育成
～子どもが夢中になる課題づくりを通して～

神山小学校

住所	〒412-0033 神山 478-2	1 年	29 人 1 学級
電話	87-0030	2 年	32 人 1 学級
校長	長澤 広志	3 年	36 人 2 学級
教頭	駒野 薫	4 年	43 人 2 学級
県費教職員数	20 人	5 年	53 人 2 学級
市費教職員数	4 人	6 年	65 人 2 学級
		特別支援学級	6 人 1 学級

学校教育目標

温かく たくましく 磨き合う 神山の子
(合言葉) -いつも えがおで-

重点目標

自分ごととして考え 笑顔で行動する

経営目標

子供たちが笑顔で登校し、生き生きと学ぶ学校

経営の重点

- 安心安全で充実した学校づくり
- 学ぶ楽しさを実感できる学校づくり
- 協働し楽しく活動する学校づくり
- ユニバーサルデザインの環境づくり（生活・学習）
- 頼もしい教職員づくり
- 家庭や地域と共に歩む学校づくり

研究分野・教科等

学習指導・国語科

研究主題

自ら考え、思いを伝え合う子の育成
～言語活動の充実や言語感覚の育成を軸として～

原里小学校

住所	〒412-0045 川島田 1902	1 年	74 人	3 学級
電話	89-0458	2 年	60 人	2 学級
校長	薮下 清美	3 年	80 人	3 学級
教頭	持田 晃寿	4 年	75 人	3 学級
県費教職員数	29 人	5 年	81 人	3 学級
市費教職員数	6 人	6 年	87 人	3 学級
		特別支援学級	16 人	3 学級

学校教育目標

「自分を創る原里の子」

重点目標

「自分事として 学ぶ・考える・行動する」

経営目標

学び合い、伸びを認め合う

経営の重点

- ・自分で考え学び合う子の育成（学び手の視点で授業をつくる教師）
- ・互いの良さを認め合える子の育成（気持ちのよいあいさつの活性化）
- ・地域連携（地域教育力の積極的な活用）

研究分野・教科等

教育課程（スタートカリキュラム） 国語

研究主題

自ら考えかかわりを深め豊かな学びを創り出す子どもの育成
～読解力を付けるための工夫～

玉穂小学校

住所	〒412-0006 中畑 441	1 年	62 人 2 学級
電話	89-0545	2 年	63 人 2 学級
校長	勝又 浩	3 年	75 人 3 学級
教頭	瀬戸 武生	4 年	83 人 3 学級
県費教職員数	29 人	5 年	80 人 3 学級
市費教職員数	6 人	6 年	75 人 3 学級
		特別支援学級	19 人 3 学級

学校教育目標

富士に学ぶ玉穂の子

- ・富士のように、高い目標を持って学習する子
- ・富士の裾野のように、心の広い子
- ・富士のように、たくましい健康な子

重点目標

㊦ ㊧ ㊨

㊦ えがおであいさつ

㊧ がんばりぬく

㊨ おもいをつたえあう

経営目標

「あい」と笑顔があふれる学校

経営の重点

- ①安全安心で楽しい学校
- ②学ぶ楽しさを実感できる学校
- ③地域や家庭とともに歩む学校
- ④一人一人を大切にする特別支援教育の充実

研究分野・教科等

学習指導・算数科

研究主題

「たい」がつながる授業～課題設定と協働的な学びの工夫～

印野小学校

住所	〒412-0008 印野 1710	1 年	16 人 1 学級
電話	89-2533	2 年	17 人 1 学級
校長	上杉 智彦	3 年	13 人 1 学級
教頭	三柴 美智子	4 年	22 人 1 学級
県費教職員数	13 人	5 年	19 人 1 学級
市費教職員数	3 人	6 年	14 人 1 学級
		特別支援学級	2 人 1 学級

学校教育目標

大地に生きる印野の子

重点目標

自ら

経営目標

未来を「生きる力」の基礎づくり <合言葉>

- (知)「自ら考え学び合う子」 みんなでなるほど
 (徳)「自ら人とかかわり合う子」 みんなとにこにこ
 (体)「自ら汗してがんばり合う子」 みんながさわやか

経営の重点

(1) 研修部：自ら考え学び合う子の育成

- 子どもが主役の授業改善 ○地域に学ぶ総合的な学習の充実 ○基礎基本の徹底
 ○表現力の育成を図る活動の充実
 ・授業がわかる 95% ・自分の考えを伝える 95%

(2) 特別活動指導部：自ら人とかかわり合う子の育成

- 地域をも元気にするあいさつ運動 ○縦割り班活動の充実 ○地域に積極的に関わる行事・活動・イベント
 ・元気なあいさつ 100% ・ありがとうと言える 100% ・自分にはよいところがある 85%
 ・学校が楽しい 95%

(3) 生活安全指導部：自ら汗してがんばり合う子の育成

- 目標を持ってがんばる場の設定 ○励ましあいながら運動に親しむ態度の育成 ○いじめの根絶
 ○組織として機能する生徒指導の確立
 ・自分のめあてに挑戦し、やりぬく 95% ・黙働清掃 95%

総合的な達成指標 「学校が楽しい」 100%

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

すすんで考え、ともに学び合う子

高根小学校

住所	(本校) 〒412-0017 塚原 38-5	1 年	(本校) 37 人 2 学級
	(分校) 〒412-0002 上小林 730-1		(分校) 6 人 1 学級
電話	(本校) 82-1003	2 年	(本校) 40 人 2 学級
	(分校) 89-3632		(分校) 5 人 1 学級
校長	鎌野 幸治	3 年	36 人 2 学級
教頭	藁科 泰裕	4 年	47 人 2 学級
県費教職員数	22 人	5 年	32 人 1 学級
市費教職員数	4 人	6 年	40 人 2 学級
		特別支援学級	1 人 1 学級

学校教育目標

よい子 学ぶ子 じょうぶな子

重点目標

超える

経営目標

気づき、考え、自ら行動する子

- (1) あいさつと思いやりあふれる学校づくり
- (2) 共に学び合う授業づくり
- (3) めあてに向かって最後までやりぬく子の育成

経営の重点

(1) あいさつと思いやり

- 気持ちのよいあいさつをする。(95%)
- 自分にはよいところがある。(85%)
- 友達のよいところを見つける。(90%)
- 学級や学校の課題を発見し、解決する。(80%)
- ① 基本的な生活習慣の育成
- ② 一人一人が自分のよさに気づき、自信を高める

(3) めあてに向かって最後までやり抜く

- 基本的な生活習慣が定着している。(80%)
- めあてを持って運動する。(90%)
- ① たくましい体づくり
- ② 運動や遊びを大切にする

(2) 共に学び合う

- 自分の考えを表現する。(85%)
- 友達の意見とつなげる。(85%)
- 読書に親しむ。(80%)
- ① 子どもが主人公の授業
- ② 地域に学び、地域愛と感謝の心を育む

(5) 開かれた学校づくり

研究分野・教科等

保小中連携一貫教育

研究主題

共に学び合うことで、自分の思いや考えを深めることができる子の育成

朝日小学校

住所	〒412-0045 川島田 84-1	1 年	62 人	2 学級
電話	84-0188	2 年	65 人	2 学級
校長	土屋 貴夫	3 年	65 人	2 学級
教頭	田中 道雄	4 年	64 人	2 学級
県費教職員数	26 人	5 年	71 人	3 学級
市費教職員数	5 人	6 年	58 人	2 学級
		特別支援学級	10 人	2 学級

学校教育目標

あさひの花を咲かせよう

重点目標

よさをみつけよう

経営目標

「心のふるさと朝日」づくり

経営の重点

◇元気に生活し、進んで体を動かす子「あさがお挨拶・あさがお生活」

＊自分で考え、行動する

＊自分なりの心をこめた挨拶をする

◇自他を大切にする子「さくら仲間・さくら活動」

＊いじめや差別は絶対に許さない風土

＊お互いを認め合う温かい集団

◇進んで学び、考えを深める子「ひまわり学習・ひまわり読書」

＊市指定研究の推進、充実、まとめ、発表、総括

＊読書の習慣化

＊読み聞かせ活動

◇その他

＊特別支援教育の充実

＊開かれた学校づくり

＊活力ある朝日小学校であるためには、まずは、教職員から

＊保幼小中一貫教育研究の推進

研究分野・教科等

国語

研究主題

考えを深める子の育成

～友達とのかかわりを通して～

東小学校

住所	〒412-0027 西田中 310	1 年	45 人 2 学級
電話	83-0415	2 年	51 人 2 学級
校長	杉山 道博	3 年	54 人 2 学級
教頭	井上 幹夫	4 年	51 人 2 学級
県費教職員数	24 人	5 年	62 人 2 学級
市費教職員数	6 人	6 年	58 人 2 学級
		特別支援学級	21 人 4 学級

学校教育目標

人にやさしく ものにやさしく 自分にきびしく

重点目標

笑顔いっぱい ありがとういっぱい

経営目標

- 子供が主体的に追究し、学び合う楽しさを実感できる授業づくりに取り組む
- 笑顔で挨拶・靴そろえを、東小の伝統として継続できるようにするとともに「良いところ見つけ」の実践を通し、自己有用感を高め、お互いを大切にする心を育てる
- 活力があり何でも相談し合えるチームとして、組織力と同僚性を高め、「教師力の向上」「学校力の強化」を図る

経営の重点

- (1)安心安全で楽しい学校づくり
- (2)地域、保護者とともに子供を育てる信頼される学校づくり
- (3)学び合う楽しさを実感できる授業づくり
- (4)特別支援教育の充実

研究分野・教科等

外国語

研究主題

主体的に自分の考えや思いを伝えようとする子の育成
～外国語を窓口として～

御殿場中学校

住所	〒412-0042 萩原 364	1 年	199 人	6 学級
電話	82-0356	2 年	245 人	7 学級
校長	芹澤 照平	3 年	208 人	6 学級
教頭	長田 裕次	特別支援学級	13 人	2 学級
県費教職員数	41 人	市費教職員数	7 人	

学校教育目標

志をもち 心豊かで たくましい 御中生

重点目標

目指す生徒増 「凛とした御中生」

経営目標

〈確かな学びづくり〉

双方向の意見交換を活発に行う（シンキング）

〈豊かな感性づくり〉

仲間と自分との違いをよさとして認める（チームワーク）

〈健やかな心身づくり〉

問題解決に向けて一歩踏み出す（アクション）

経営の重点

ア 信頼される魅力ある学校づくりの推進

- ・校訓、連継・一貫目標、学校教育目標、目指す生徒像、学校経営目標、研究主題、数値目標の明確化、一貫性
- ・PDCA（評価→改善→計画→実行）サイクルの機能化⇒5ステージ制の継続

イ 頼もしい職員の育成

- ・学校教育目標、学校経営方針、静岡県教員育成指標を意識し、自己磨き、同僚性を高め、共通実践を目指して切磋琢磨できる温かな職員集団づくり
- ・「生徒一人一人に学びの実感、関わり合うことの意義を味わわせる授業力」や「生徒一人一人に自信を持たせ、自尊感情を育む生徒指導力」の向上

ウ 双方向の意見交換を活発に行う（確かな学びづくり）

- ・学校の教育活動のあらゆる場面で、生徒一人一人に「自身」「自尊感情」を育むことを意識していく。

エ 仲間と自分との違いをよさとして認める（豊かな感性づくり）

- ・生徒の活動にもPDCAサイクルを位置付ける。
- ・「生徒の付けたい力」を明確にした上で、各行事や活動等を展開する。

オ 問題解決に向けて一歩踏み出す（健やかな心身づくり）

- ・「目標を立てる」「計画的に実践する」「努力を積み重ねる」「やり遂げた達成感を味わう」活動を大切にし、「主体的にやり遂げる力」を育む。
- ・生徒一人一人の人権感覚を磨き、生徒一人一人に集団生活のルールや学習のルール、マナー、社会性を育むとともに、規範意識を高める指導を進める。

研究分野・教科等

学習指導 全教科

研究主題

じっくり考え、質の高い対話ができる生徒の育成

～2巡目の意見交換を通して～

富士岡中学校

住所	〒412-0035 中山 825-1	1 年	178 人	6 学級
電話	87-1122	2 年	164 人	5 学級
校長	飯塚 誠	3 年	192 人	6 学級
教頭	秋岡 智子	特別支援学級	17 人	3 学級
県費教職員数	36 人	市費教職員数	6 人	

学校教育目標

心豊かで活力のある生徒の育成

重点目標

「チーム富士岡」とともに「感動」ある学校づくり

経営目標

- (1) 自ら考え、ともに学び合う授業づくり
- (2) 安心・安全で、笑顔あふれる環境づくり
- (3) 「チーム富士岡」学校・保護者・地域・教職員の連携による 共汗・共感ある学校づくり

経営の重点

- (1) 確かな学力を身につけさせるように、授業改善を進める（新学習指導要領全面实施）
 - 「主体的・対話的で深い学び」のための『しかけ』の探究・充実により学習評価を通した授業改善を実践する
 - 教材・教具及び板書の工夫、ICT の活用等、視覚に訴える授業を実践する
 - 補充学習等を計画的に進める（長期休業中、テスト前等）
- (2) 環境づくり、人間関係づくりを意識した安全・安心な学級づくりを進める
 - 安全な教育環境づくりに努め、安心できる居場所を保障する
 - さわやかなあいさつ、積極的関わり合いで笑顔あふれる学校生活を築く（コミュニケーション力の育成）
 - 特別支援教育、道徳教育を充実させ、豊かな心を育成する→子どもはかけがえのない存在
- (3) 「チーム富士岡」生徒・保護者・地域・教職員の連携により、富士岡地区の子どもたちの健全育成を図る
 - 外部 T の授業支援・地域学習等による体験の多様化から得る豊かな学び（地域との絆）
 - 外部と連携した訓練・体験による安全への主体的姿勢の涵養

研究分野・教科等

- ・地域とともにある学校づくり（コミュニティスクール）
- ・授業方法、内容の工夫、改善

研究主題

生徒の主体的な学びを生み出す「しかけ」の探求

～「自分の○○」にこだわりをもって追究し、豊かに表現する生徒の育成～

原里中学校

住所	〒412-0045 川島田 1363-1	1 年	144 人	5 学級
電話	89-0338	2 年	134 人	4 学級
校長	勝村 由加利	3 年	137 人	4 学級
教頭	清水 達夫	特別支援学級	2 人	1 学級
県費教職員数	27 人	市費教職員数	3 人	

学校教育目標

たくましく 心やさしい 原里中学生徒

重点目標

「自分の目標に向かって 自ら考え発信し 行動する生徒の育成」

経営の重点

- ①主体性を育てる授業
- ②基礎学力の向上
- ③視野を広げるキャリア教育
- ④安全・安心な教育環境の整備
- ⑤自ら考え、行動する生徒の育成
- ⑥特別支援教育の推進
- ⑦健康指導
- ⑧積極的な生徒指導

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

生徒一人ひとりの主体性を育てる授業

～自分の思いを生き生きと語り合える生徒を目指して～

西中学校

住所	〒412-0006 中畑 662-2	1 年	106 人	4 学級
電話	89-0543	2 年	95 人	3 学級
校長	小宮 隆	3 年	90 人	3 学級
教頭	藤井 貴英	特別支援学級	10 人	2 学級
県費教職員数	21 人	市費教職員数	4 人	

学校教育目標

品性を高め 気力の充実に努める生徒の育成

重点目標

認め合い 良さを発揮する生徒

経営の目標

- 1 主体的に学ぶ力を育てる
- 2 相手意識と仲間意識を高め、豊かな人間性を育む
- 3 健やかな心身と絆を育み、安心安全な居場所をつくる

経営の重点

- ・授業の充実
主体的・対話的で深い学びのある授業を実践し、授業力の向上に努める。
- ・道德教育と一貫研修、キャリア教育の推進
「心やさしく たくましい子の育成」に向け、相手意識と仲間意識を高める特別活動や道徳科授業、健やかな心身と絆を育む積極的な生徒指導の実践。教育活動全体で「基礎的・汎用的能力」の育成を図る。
- ・合言葉「笑顔、幸せ」
教職員が自身の幸せを追求することで、それに連動する子どもたちの幸福感を高め、笑顔あふれる学校を創る。

研究分野・教科等

授業改善・学力向上

研究主題

生徒とともに作る授業
～主体的・協働的に学び続ける生徒の育成～

高根中学校

住所	〒412-0017 塚原 4-1	1 年	40 人	2 学級
電話	82-1029	2 年	40 人	2 学級
校長	小林 徹	3 年	48 人	2 学級
教頭	中西 直子	特別支援学級	—	
県費教職員数	14 人	市費教職員数	2 人	

学校教育目標

感受豊かに 学びを深め 未来を拓く

重点目標

自分のよさ(徳)に気付き、自信を持って発信し、周囲をよりよい状態に変えていく

経営目標

【豊かな体験】思いやりの心を持ち、感じ、考え、豊かに表現できる生徒の育成

【確かな学び】主体的に学び合い、学ぶ楽しさを実感できる生徒の育成

【健やかな心身】心身ともにたくましく高い志を持って努力する生徒の育成

経営の重点

(1)授業の充実

(2)道徳教育の推進と縦の接続・横の連携

(3)キャリア教育の推進

(4)チーム高根中の推進

学校経営構想「豊かな体験」「確かな学び」「健やかな心身」を柱として、「地域との連携」「保小中連携」を重視し、PDCA サイクルが機能した学校経営を推進する。

研究分野・教科等

道徳教育、学び合い

研究主題

主体的な問題解決や対話的な学び合いを通して、学びの実感を積み重ね、自分の思いを表現することが出来る生徒の育成

南中学校

住所	〒412-0042 萩原 1327	1 年	143 人	5 学級
電話	83-8434	2 年	159 人	5 学級
校長	横溝 千都生	3 年	126 人	4 学級
教頭	勝又 明美	特別支援学級	3 人	1 学級
県費教職員数	28 人	市費教職員数	3 人	

学校教育目標

仲間と共にたくましく伸びる

重点目標・経営目標

- 【確かな学びづくり】 自らの課題を自ら解決する生徒
- 【豊かな感性づくり】 お互いの良さを認め合い、誰とでも助け合える生徒
- 【健やかな心身づくり】 たくましい心と体をつくる生徒

経営の重点

- (1) 学校生活が楽しい (生徒) 95%
- (2) 学校には信頼できる先生がいる (生徒) 95%
- (3) 学校は保護者や地域に情報提供を積極的に行っている (保護者) 90%
- (4) 学校の授業の内容が分かる (生徒) 90%
- (5) 学校のきまりを守って生活する (生徒) 100%

研究分野・教科等

授業改善 (課題解決学習・ICT の活用)

県指定事業 GIGAスクール構想 (1人1台端末) 下における「『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」調査研究事業

市指定事業 教育研究 (学力向上)

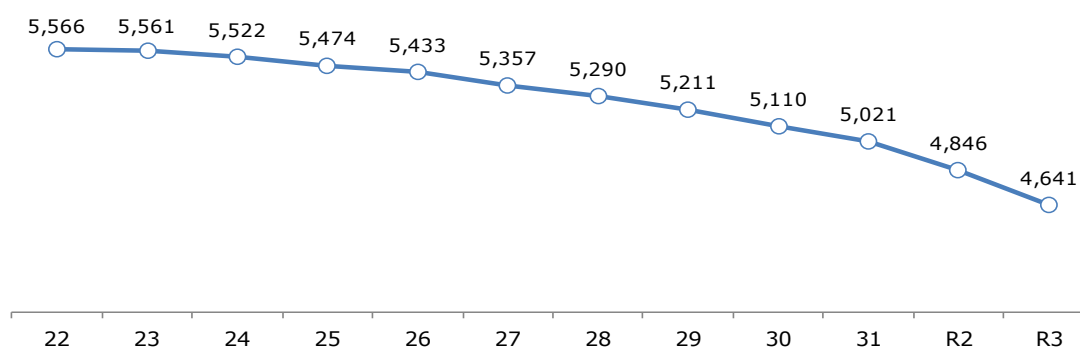
研究主題

自ら課題を見つけ、主体的に解決する授業づくり
～ICTを活用した問題解決学習の授業を通して～

⑤ 児童・生徒・園児数の推移

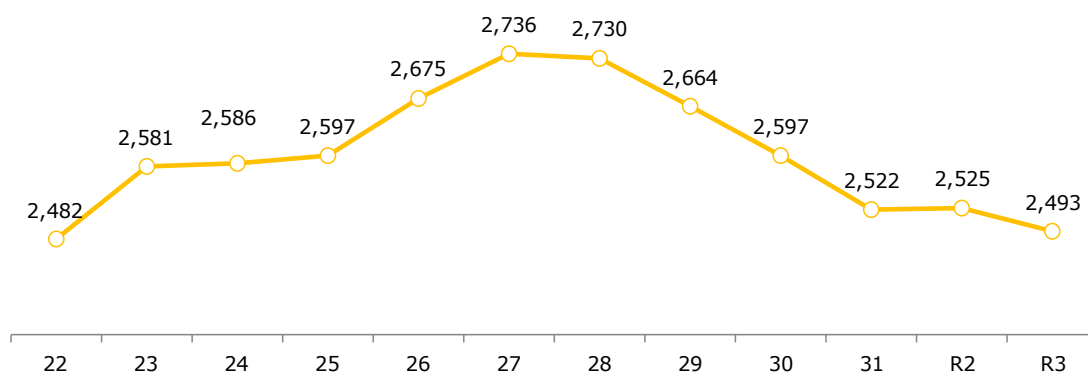
【小学校】

校名\年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
御殿場	954	949	923	954	938	926	961	987	1031	1042	1070	1082
御殿場南	923	873	887	832	862	856	825	818	801	802	740	716
富士岡	514	529	555	570	564	582	605	603	580	570	574	565
神山	701	678	679	628	580	544	524	478	401	359	323	264
原里	691	740	732	723	699	662	634	587	588	556	516	473
玉穂	499	497	513	499	495	519	497	517	508	513	500	457
印野	131	137	127	126	132	134	130	123	126	120	110	103
高根	231	224	231	236	248	258	253	248	246	231	235	233
分校	14	20	23	23	17	13	20	15	10	14	13	11
朝日	466	488	457	468	461	431	417	409	413	415	411	395
東	442	426	395	415	437	432	424	426	406	399	354	342
合計	5,566	5,561	5,522	5,474	5,433	5,357	5,290	5,211	5,110	5,021	4,846	4,641



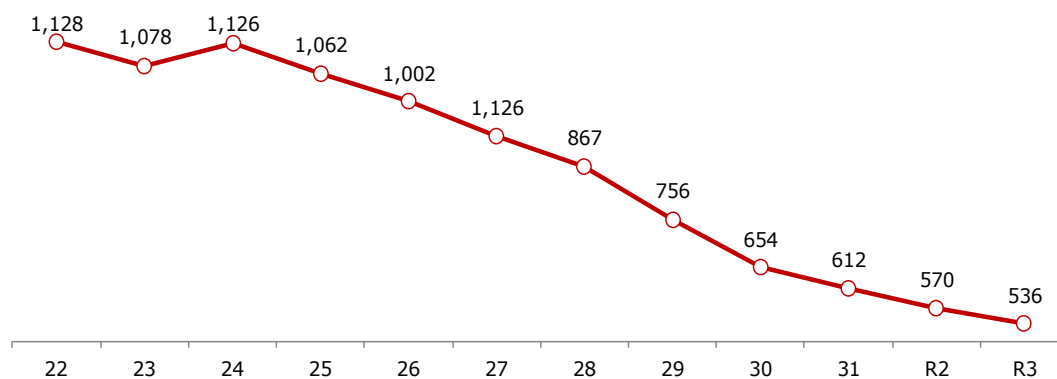
【中学校】

校名\年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
御殿場	623	643	658	627	639	624	662	643	632	624	676	665
富士岡	542	630	651	676	679	707	656	648	641	648	598	551
原里	416	413	395	407	466	508	515	506	457	436	406	417
西	287	272	285	282	305	291	287	267	278	264	281	301
高根	133	124	119	119	120	126	125	130	134	137	132	128
南	481	499	478	486	466	480	485	470	455	413	432	431
合計	2,482	2,581	2,586	2,597	2,675	2,736	2,730	2,664	2,597	2,522	2,525	2,493



【幼稚園】

園名\年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
御殿場	304	300	311	292	299	282	278	251	229	224	195	184
原里	173	171	182	177	145	119	106	77	74	71	68	63
原里西	51	45	50	44	43	53	41	36	26	26	23	18
玉穂	160	165	174	167	159	146	154	137	111	89	81	66
富士岡	160	146	137	125	118	120	98	84	61	53	52	55
森之腰	126	109	121	119	106	106	109	110	106	99	120	128
竈	56	48	55	53	57	49	37	34	34	40	31	22
神山	98	94	96	85	75	56	44	27	13	10	-	-
合計	1,128	1,078	1,126	1,062	1,002	931	867	756	654	612	570	536



⑥ 中学校卒業者の進路状況

【年度別卒業生進路状況一覧】

年度\区分	進学者						就職者 (その他含む)			卒業生総数		
	高等学校進学者			専修学校等進学者								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20	425	381	806	0	1	1	8	4	12	433	386	838
21	453	398	851	0	0	0	8	7	15	461	405	819
22	393	391	784	0	0	0	8	5	13	401	396	866
23	443	397	840	1	0	1	3	11	14	447	408	797
24	436	407	843	1	1	2	6	3	9	443	411	855
25	440	390	830	1	0	1	6	4	10	447	394	854
26	437	421	858	0	1	1	11	2	13	448	424	841
27	455	414	869	0	0	0	7	4	11	462	418	872
28	467	449	916	0	1	1	1	4	5	468	454	880
29	469	433	902	0	0	0	1	8	9	470	441	922
30	484	397	881	3	0	3	1	4	5	488	401	911
31	462	388	850	0	1	1	5	4	9	467	393	860
R2	440	385	825	0	0	0	4	4	8	444	389	833

【令和2年度学校別卒業生進路状況一覧】

	高等学校進学者			専修学校等進学者			就職者（その他含む）			卒業生総数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
御殿場	102	102	204	0	0	0	1	1	2	103	103	206
富士岡	131	96	227	0	0	0	0	0	0	131	96	227
原里	61	66	127	0	0	0	0	0	0	61	66	127
西	51	34	85	0	0	0	0	2	2	51	36	87
高根	26	18	44	0	0	0	1	0	1	27	18	45
南	69	69	138	0	0	0	2	1	3	71	70	141
計	440	385	825	0	0	0	4	4	8	444	389	833

【令和2年度学校別卒業生進路状況一覧】

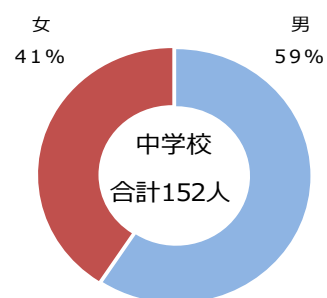
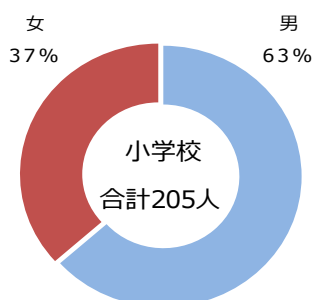
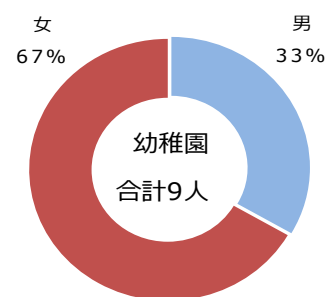
学校\区分	県公立高校等		県内私立高校		高専		県外高校等		進学者総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
御殿場	50	56	45	42	3	0	4	4	102	102	204
富士岡	60	54	52	39	2	1	17	2	131	96	227
原里	36	39	21	23	1	1	3	3	61	66	127
西	33	23	17	11	0	0	1	0	51	34	85
高根	19	14	4	3	3	0	0	1	26	18	44
南	33	35	27	31	6	3	3	0	69	69	138
計	231	221	166	149	15	5	28	10	440	385	825

⑦ 日本スポーツ振興センター

【令和2年度 月別災害発生状況】													(件)
校種\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼	0	0	2	2	0	2	2	0	1	0	0	0	9
小	1	1	29	10	5	26	19	29	29	36	20	0	205
中	0	0	13	18	3	30	25	23	15	11	13	1	152

【令和2年度 性別・学年別災害発生状況】

校種	学年	男	女	計
幼稚園	3歳	1	1	2
	4歳	1	3	4
	5歳	1	1	2
	6歳	0	1	1
	計	3	6	9
小学校	1年	19	11	30
	2年	22	12	34
	3年	17	8	25
	4年	16	15	31
	5年	29	16	45
	6年	27	13	40
	計	130	75	205
中学校	1年	28	19	47
	2年	42	28	70
	3年	20	15	35
	計	90	62	152
合計		223	143	366



⑧ 育英奨学金

【育英奨学金貸与返還状況】

年度\区分	貸与金額	当該年度新規採用者			当該年度奨学生数			返還状況	
	決算（円）	高校	専修	大学	高校	専修	大学	人員	金額（円）
23	18,504,000	0	-	18	1	-	51	53	9,331,200
24	17,892,000	2	-	8	3	-	49	60	10,784,200
25	15,768,000	1	-	14	2	-	44	61	11,967,200
26	18,576,000	2	-	16	4	-	50	67	9,563,400
27	17,712,000	0	1	14	3	1	47	69	16,872,800
28	19,098,000	0	2	10	2	3	50	73	12,267,600
29	14,460,000	0	1	5	0	4	37	80	14,212,200
30	11,520,000	0	1	8	0	3	29	89	14,377,700
31	8,604,000	0	1	5	1	1	23	101	16,065,000
R2	7,344,000	0	1	4	1	2	18	89	15,617,100

※専修学校は平成27年度より貸与対象となった

⑨ 就学援助及び特別支援教育就学奨励費

経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品等の購入に要する経費の一部を援助費として支給している。また、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、さらに特別支援教育の振興に努めている。

●令和2年支給額

種別	小学校		中学校		合計	
	人員（人）	金額（円）	人員（人）	金額（円）	人員（人）	金額（円）
要保護及び準要保護支給実績	251	16,196,761	176	16,539,869	423	32,736,630
特別支援教育就学奨励費支給実績	134	3,883,161	32	1,507,764	166	5,390,925

就学援助受給者数の推移

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	02年度
小学校（人）	231	223	262	246	265	251
割合（全校児童中）	4.3%	4.3%	5.1%	4.8%	5.2%	5.2%
中学校（人）	158	174	175	172	158	176
割合（全校生徒中）	5.7%	6.5%	6.7%	6.6%	6.2%	7.1%
合計（人）	389	397	437	418	423	427
割合	4.8%	5.0%	5.7%	5.4%	5.6%	5.6%

⑩ 小・中学校の入学状況

年度	小学校入学者						中学校入学者					
	市内公立入学者数			私立入学者数			市内公立入学者数			私立入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
23	484	441	925	1	2	3	451	410	861	5	18	23
24	469	431	900	1	0	1	449	427	876	5	14	19
25	451	454	905	0	0	0	467	418	885	4	8	12
26	466	469	935	2	0	2	468	461	929	4	13	17
27	462	447	909	2	2	4	475	446	921	12	10	22
28	434	437	871	1	3	4	495	406	901	11	11	22
29	419	419	838	1	4	5	464	397	861	5	12	17
30	429	396	825	3	2	5	456	388	844	11	12	23
31	416	367	783	2	4	6	412	408	820	5	13	18
R2	374	406	780	2	3	5	455	415	870	9	12	21
R3	352	371	723	1	2	3	428	396	824	11	17	28

⑪ 施設の整備状況

【小学校】

学校名	建物面積 (㎡)							校地面積 (㎡)				教室数			プール
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計		
	木造	非木造	計	木造	非木造	計									
御殿場	0	8,778	8,778	0	(1,386)	(1,386)	(1,386) 8,778	15,238	9,257	24,495	40	12	52	25m×15m ※15m×10m	
東	89	5,350	5,439	0	1,724	1,724	7,163	10,523	12,982	23,505	16	9	25	25m×13m ※10m×5.5m	
御殿場南	16	6,573	6,589	0	1,089	1,089	7,678	10,246	11,526	21,772	30	9	39	25m×15m ※10m×6m	
富士岡	101	5,785	5,886	0	938	938	6,824	10,329	8,961	19,290	22	9	31	25m×15m ※15m×10m	
神山	40	4,433	4,473	0	(905)	(905)	(905) 4,473	9,664	7,341	17,005	11	8	19	25m×13m ※10m×6m	
原里	50	8,057	8,107	0	1,346	1,346	9,453	11,185	13,088	24,273	20	18	38	25m×15m ※10m×6m	
朝日	0	5,669	5,669	0	1,024	1,024	6,693	13,554	16,685	30,239	15	11	26	25m×13m ※10m×10m	
玉穂	10	5,997	6,007	0	(1,922)	(1,922)	(1,922) 6,007	17,325	16,211	33,536	20	11	31	—	
印野	0	4,498	4,498	0	(1,415)	(1,415)	(1,415) 4,498	8,216	10,639	18,855	7	9	16	25m×13m ※8m×5m	
高根	0	4,916	4,916	0	1,345	1,345	6,261	11,676	9,763	21,439	12	9	21	25m×13m ※10m×10m	
上小林 分校	0	375	375	0	0	0	375	1,871	1,088	2,959	2	1	3	※10m×4m	
計	306	60,431	60,737	() 0	(5,628) 7,466	(5,628) 7,466	(5,628) 68,203	119,827	117,541	237,368	195	106	301		

【中学校】

学校名	建物面積（㎡）								校地面積（㎡）			教室数			プール
	校舎			屋内運動場			格技室	合計	運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計									
御殿場	33	6,478	6,511	0	2,187	2,187	356	9,054	17,693	11,400	29,093	21	15	36	—
南	0	5,276	5,276	0	2,260	2,260	231	7,767	15,809	13,904	29,713	15	12	27	—
富士岡	0	5,348	5,348	0	1,441	1,441	312	7,101	13,068	13,546	26,614	17	13	30	—
原里	56	5,257	5,313	0	1,798	1,798	342	7,453	12,517	20,550	33,067	14	12	26	—
西	65	6,712	6,777	0	1,798	1,798	301	8,876	14,935	22,953	37,888	11	11	22	—
高根	0	4,222	4,222	0	(1,726)	(1,726)	170	(1,726) 4,392	14,043	11,695	25,738	6	13	19	—
計	154	33,293	33,447	0	(1,726) 9,484	(1,726) 9,484	1,712	(1,726) 44,643	88,065	94,048	182,113	84	76	160	—

注) () は地区体育館

【幼稚園】

園名	建物面積（㎡）							園地面積（㎡）			保育室数			プール
	園舎			屋内運動場			合計	園庭	園舎敷地 その他	合計	保育室	遊戯室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	26	1,487	1,513	—	—	—	1,513	3,037	2,043	5,080	10	1	11	—
富士岡	20	813	833	—	—	—	833	1,639	2,655	4,294	6	1	7	—
龍	142	319	461	—	—	—	461	1,681	1,236	2,917	3	1	4	—
原里	23	852	875	—	—	—	875	2,883	4,449	7,332	6	1	7	—
玉穂	0	860	860	—	—	—	860	2,747	4,337	7,084	6	1	7	—
原里西	20	584	604	—	—	—	604	2,297	2,653	4,950	3	1	4	—
森之腰	0	1,016	1,016	—	—	—	1,016	1,495	2,420	3,915	6	1	7	—
計	231	5,931	6,162	—	—	—	6,162	15,779	19,793	35,572	40	7	47	—

2 所管外学校等

【幼稚園】

園名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	園児数（人）			教員数 （人）
					男	女	計	
聖マリア 幼稚園	昭和35年 4月	御殿場市新橋 1591番地	84-1215	梅村 昌弘 池島 真季	50	49	99	9
みなみ 幼稚園	昭和49年 4月	御殿場市萩原 1193番地の13	83-5373	山崎 弘樹	114	122	236	20

令和3年度学校基本調査より

学校名	創立年月	所在地	電話	校長名	生徒数（人）			教員数 （人）	職員数 （人）
					男	女	計		
静岡県立 御殿場 特別支援学校	平成12年 4月	御殿場市神山 1553番地の3	87-8200	鈴木 晴久	小	62	25	87	109
					中	26	16	42	
					高	50	31	81	
					計	138	72	210	

令和3年5月1日現在

【高等学校】

学校名	創立年月日	所在地	電話	校長名	学科	生徒数（人）			教員数 （人）	職員数 （人）
						男	女	計		
静岡県立 御殿場 高等学校	明治34年 12月7日	御殿場市 御殿場 192番地の1	82-0111	太田 裕	創造工学科 創造ビジネス科 生活創造デザイン科	305	221	526	60	9
静岡県立 御殿場南 高等学校	昭和38年 4月1日	御殿場市 新橋 1450番地	82-1272	高橋 健二	普通科	268	242	510	32	5
学校法人 東駿学園 御殿場西 高等学校	昭和42年 4月1日	御殿場市 茱萸沢 644番地の1	89-2466	大塚 勇介	普通科	498	312	810	65	9

令和3年5月1日現在

【各種学校】

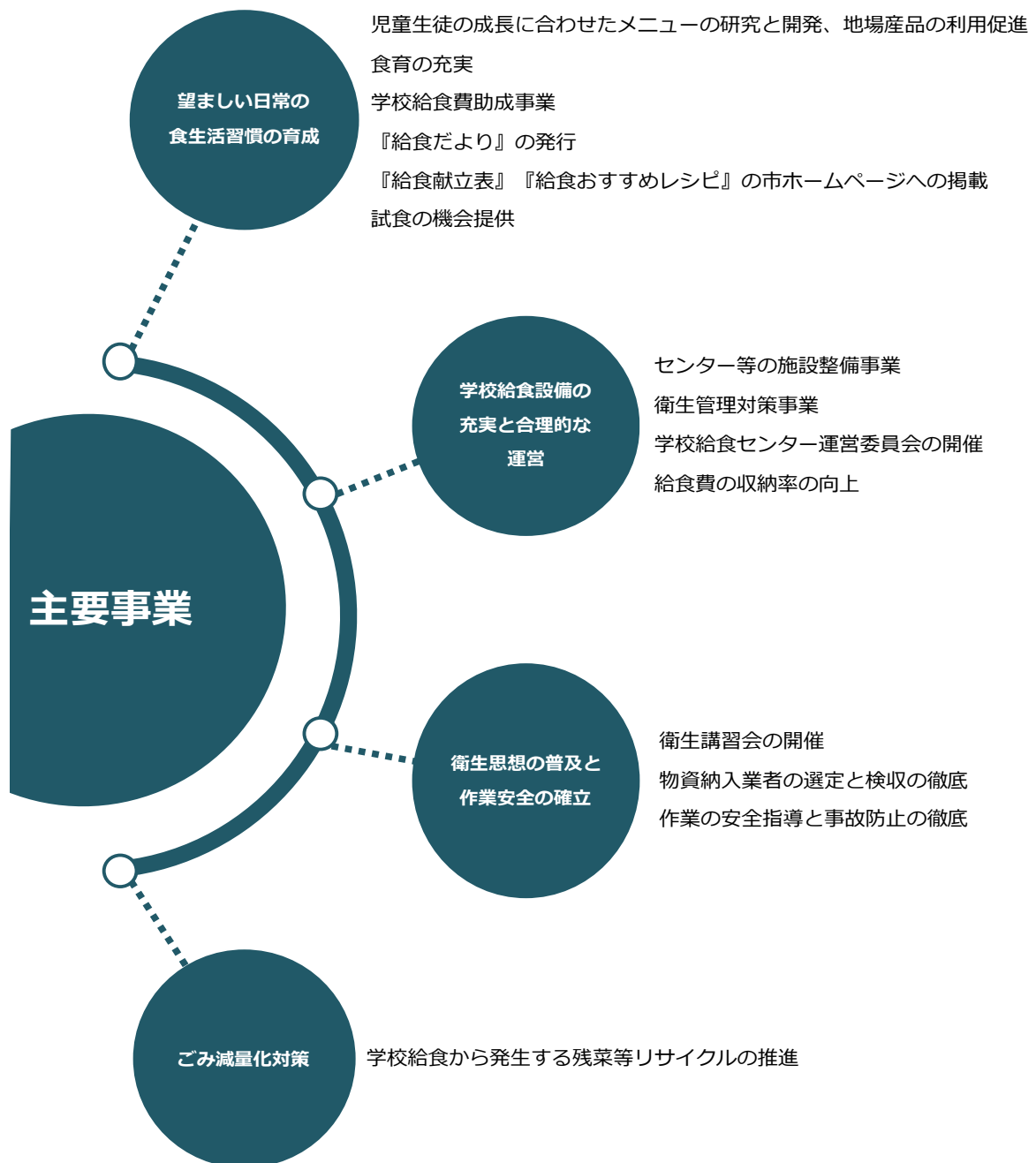
学校名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	生徒数（人）			教員数 （人）
					男	女	計	
御殿場 看護学校	平成17年 4月	御殿場市 川島田 198番地の3	84-5200	齋藤 昌一	20	76	96	11

令和3年度学校基本調査より

学校給食

1 学校給食

① 主要事業



② 学校給食配食校変遷一覧表

年 月	西学校給食センター (第一学校給食センター)	第二学校給食センター	第三学校給食センター	南学校給食センター	高根学校給食センター	単 独 校
30~39						原里小 33年 御殿場南小 35年 御殿場小 30年 玉穂小 34年 富士岡小 31年 神山小 32年 高根小 39年 高根中 39年 印野小 34年 9校
S45年11月	原里小(新)					(原里小、御殿場南小→第一へ) 7校
	御殿場南小(新)					
	養護学校(新)3校					
S46年4月	御殿場中(新)					
	原里中(新)5校					
S52年4月	南中(新)					
	6校					
S53年4月	上小林分校(新)					
	7校					
S54年10月	(御殿場中、御殿場南小、南中→第二へ)	御殿場南小 南中 御殿場中 御殿場小(新)4校				(御殿場小→第二へ) 6校
S55年5月	玉穂小(新)					(玉穂小→第一へ)
	西中(新)					5校
	富士岡中(新)7校					
S56年4月	上小林分校					上小林分校 (→高根小へ併設)
	6校					
S58年3月	朝日小(新)6校					
	(富士岡中→第二へ)	富士岡中 5校				
		(富士岡中→第三へ)	富士岡小(新)			(富士岡小、神山小→第三へ)
S61年4月			神山小(新)			
			富士岡中 3校			3校
S62年4月	(養護学校→第三へ)		養護学校			
			4校			
H 2年9月	改築竣工移動					
H 3年4月	南中	(南中→第一へ)				
	6校	東小(新)4校				
H 6年4月		高根小(新)				(高根小、高根中、上小林分校→第二へ) 単独校 1校
		高根中(新)				
		上小林分校(新)7校				
H 7年4月		(高根小、高根中、上小林分校→高根へ)			高根小 上小林分校 高根中 3校	
H 8年4月	印野小(新)7校					(印野小→第一へ) 単独校 0校
H12年4月			(養護学校→県立へ)			
H22年8月	原里小	御殿場小	富士岡小			
	玉穂小	御殿場南小	神山小			
	朝日小	東小	富士岡中 3校			
	印野小	御殿場中 4校				
	原里中					
	西中					
	南中 7校	H22年8月31日廃止	H22年8月31日廃止			
H22年9月~	御殿場小			御殿場南小	高根小	
	原里小			東小	上小林分校	
	玉穂小			富士岡小	高根中 3校	
	印野小			神山小		
	原里中			朝日小		
	西中 6校			御殿場中		
				南中		
				富士岡中 8校		

※ 平成22年9月1日から南学校給食センターの稼働に伴い、第1学校給食センターを西学校給食センターに名称変更

③ 施設の概要

(1)西学校給食センター（令和3年4月1日現在）

所在地	御殿場市川島田1910番地の9	
敷地	4,530.32㎡	
建物面積	1,609.07㎡	管理・調理棟 1,515.57㎡ ポンプ、フロアー、プロパン庫 35.00㎡ 生ごみ処理棟 58.50㎡
構造	鉄骨造一部2階建（地下ピット鉄筋コンクリート造）	
工期	着工：平成元年8月5日 竣工：平成2年6月9日	
建設費	建築工事費：305,910,000円 厨房設備費：258,530,000円 その他：59,213,670円 計：623,653,670円	
給食開始	平成2年9月4日	
調理能力	4,500食	
配食校	6校（小学校4、中学校2）	110学級
給食対象人員	2,833人	
職員数	24人 所長1、県栄養士2、主幹（給食統括）1、調理職員6、調理パート会計年度任用職員14	
配送の状況	方法：コンテナ（1コンテナ6学級分） 配送車：3台（委託）…1台は高根センターと兼務 配送時間：午前10時30分から正午まで 回収時間：午後1時から午後2時30分まで	
厨房設備	蒸気ボイラー2,000kg/h 2基 蒸気回転釜480ℓ 4基 トラックイン式食缶消毒保管庫 3基 球根皮むき機 1台 連続式揚物機 1台 スチームコンベクション 2台 フードスライサー 2台 食缶洗浄機 1台 コンテナ洗浄機 1台 果物洗浄機 1台 コンテナ 28台 冷蔵室 1室 冷蔵庫 3台 貯湯槽3,000ℓ 1基 ガス回転釜150ℓ 3基 器具消毒保管庫 10基 真空冷却機 2台 さいの目切機 1台 高速ミキサー 3台 食器洗浄機 1台 スプーン洗浄機 1台 コンテナ保管庫 冷凍庫 3台 包丁まな板殺菌保管庫 4台	
特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。	

(2)南学校給食センター（令和3年4月1日現在）

所在地	御殿場市竈534番地の1		
敷地	地	7,388.08㎡	
建物面積	2,419.31㎡		管理・調理棟1階 1,962.05㎡
			管理・調理棟2階 457.26㎡
			駐輪場 8.82㎡
			ゴミ置き場 3.35㎡
構造	造	鉄骨造2階建	
工期	着工	：平成21年9月1日	
	竣工	：平成22年6月30日	
建設費	PFI事業費	：1,867,035千円	
	内)施設整備費	：1,197,494千円	
	維持管理・運営費	：496,271千円	
	その他	：173,270千円	
給食開始	平成22年9月1日		
調理能力	5,000食		
配食校	8校（小学校5、中学校3）		149学級
給食対象人員	3,929人		
職員数	35人	課長（所長）1、管理スタッフ統括（副参事）1、主任1、県栄養士2、主幹（給食統括）1、調理職員7、調理パート会計年度任用職員22	
配送の状況	方法	：コンテナ（1コンテナ6学級分）	
	配送車	：4台（委託）	
	配送時間	：午前10時30分から正午まで	
	回収時間	：午後1時から午後2時30分まで	
厨房設備	電気式連続フライヤー	114,88kw 1台	スチームコンベクションオープン56kw 2台
	コンテナ消毒保管庫	27kw 19台	電気式食器消毒保管庫8.75kw 3台
	電気式食器消毒保管庫	13.5kw 2台	トラックイン電気式消毒保管庫54kw 3台
	トラックイン電気式消毒保管庫	27kw 4台	トラックイン電気式消毒保管庫13.5kw 2台
	真空冷却機	56kg/h 2.4kw 1台	蒸気回転釜76kg/h 310L 9台
	IH調理器	1.3kw 1台	IH調理器7.85kw 2台
	コンテナ洗浄機	169.65kw	食器トレー洗浄機100kg/h 63.2kw 1台
	食缶洗浄機	100kg/h 77.7kw 1台	
特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。		

(3)高根学校給食センター（令和3年4月1日現在）

所 在 地	御殿場市塚原41番地の3		
敷 地	815㎡		
建 物 面 積	500.54㎡	管理・調理棟 494.24㎡ ボイラー室・電気室等 6.3㎡	
構 造	鉄骨造平屋建（地下ピット鉄筋コンクリート造）		
工 期	着 工 ： 平成6年3月30日		
	竣 工 ： 平成7年3月20日		
建 設 費	建 築 工 事 費 ： 126,817千円		
	電 気 工 事 費 ： 28,753千円		
	機 械 設 備 工 事 費 ： 101,276千円		
	計 ： 256,846千円		
給 食 開 始	平成7年4月1日		
調 理 能 力	1,000食		
配 食 校	3校（小学校2、中学校1）		20学級
給 食 対 象 人 員	372人		
職 員 数	9人	所長（西と兼務）1、主幹（給食統括）1、県栄養士1、調理職員1、調理パート会計年度任用職員5	
配 送 の 状 況	方 法 ： コンテナ（1コンテナ6学級分）		
	配 送 車 ： 1台（委託）…西学校給食センター兼務		
	配 送 時 間 ： 午前11時20分から午前11時45分まで		
	回 収 時 間 ： 午後1時45分から午後2時5分まで		
厨 房 設 備	給湯ボイラー1,170ℓ 1基 冷凍冷蔵庫 1台		
	揚物機 1台 ガス回転釜110ℓ 4基		
	真空冷却機 1台 球根皮むき機 1台		
	さいの目カッター 1台 食器消毒保管庫 3基		
	スプーン洗浄機 1台 フードスライサー 1台		
	食器・食缶洗浄機 1台 スチームコンベクションオープン 1台		
	食缶消毒保管庫 2基 超音波洗浄機 1台		
	箸洗浄機 器具消毒保管庫 3基		
	冷凍庫 1台 冷蔵庫 2台		
	特 性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。	

④ 学校給食の実施状況

令和3年5月1日現在

センター名	学校名	クラス数	対象人員	給食型
西学校給食センター	御殿場小学校	38	1082	完全
	原里小学校	20	473	〃
	玉穂小学校	19	457	〃
	印野小学校	7	103	〃
	原里中学校	14	417	〃
	西中学校	12	301	〃
	小計	110	2,833	
南学校給食センター	御殿場南小学校	29	716	完全
	東小学校	16	342	〃
	富士岡小学校	22	565	〃
	神山小学校	11	264	〃
	朝日小学校	15	395	〃
	御殿場中学校	21	665	〃
	南中学校	15	431	〃
	富士岡中学校	20	551	〃
	小計	149	3,929	
高根学校給食センター	高根小学校	12	233	完全
	上小林分校	2	11	〃
	高根中学校	6	128	〃
	小計	20	372	
合計		279	7,134	

【給食費】 小学校：月額 4,820 円
 中学校：月額 5,830 円
 （11 回徴収）

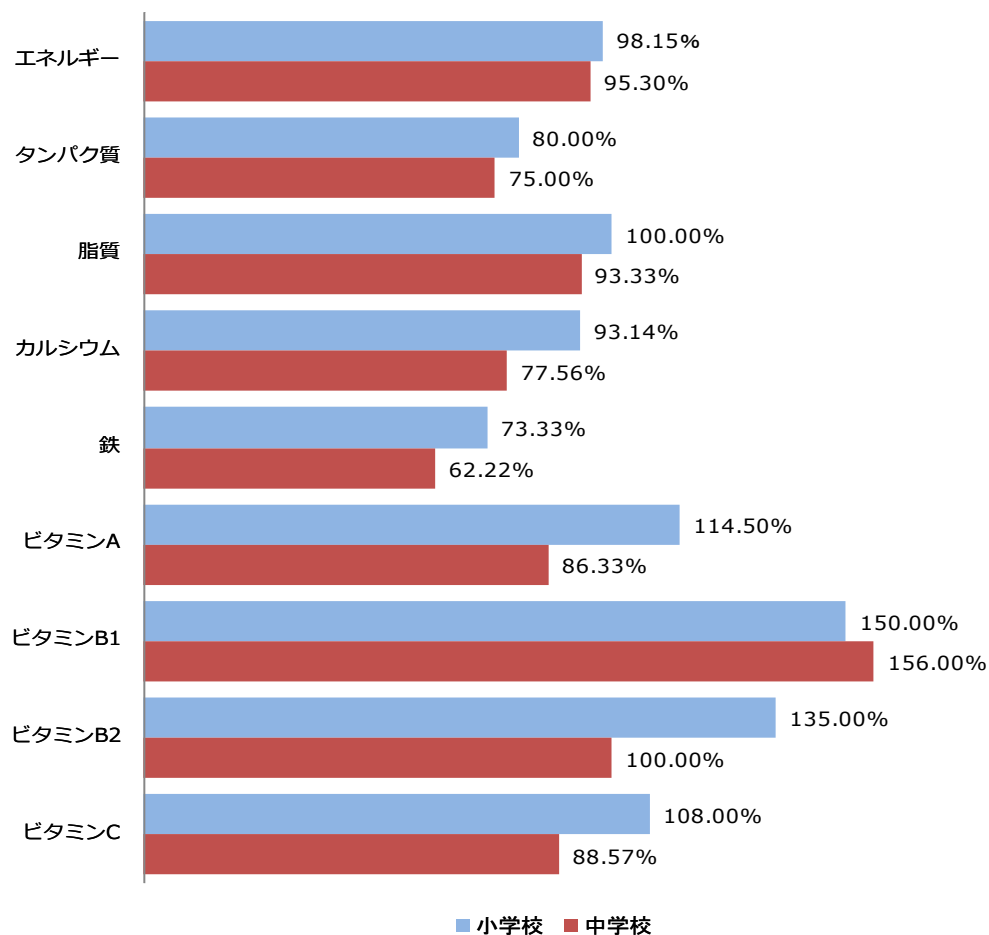
※給食費助成後納付額
 小学校：月額 3,620 円
 中学校：月額 4,380 円

【人数】 小学校：4,641 人
 中学校：2,493 人

⑤ 児童・生徒一人当たり栄養摂取状況

区分	単位	小学校				中学校			
		基準量	摂取量			基準量	摂取量		
			6月	11月	年平均		6月	11月	年平均
エネルギー	Kcal	650	647	634	638	830	799	791	791
タンパク質	%	13～20	16	15	16	13～20	15	15	15
脂質	%	20～30	30	30	30	20～30	28	28	28
カルシウム	mg	350	340	321	326	450	363	343	349
鉄	mg	3	2.3	2.4	2.2	4.5	2.8	3.0	2.8
ビタミンA	μgRE	200	233	216	229	300	264	243	259
ビタミンB1	mg	0.4	0.61	0.59	0.60	0.5	0.79	0.78	0.78
ビタミンB2	mg	0.4	0.54	0.53	0.54	0.6	0.61	0.59	0.60
ビタミンC	mg	25	26	23	27	35	30	27	31

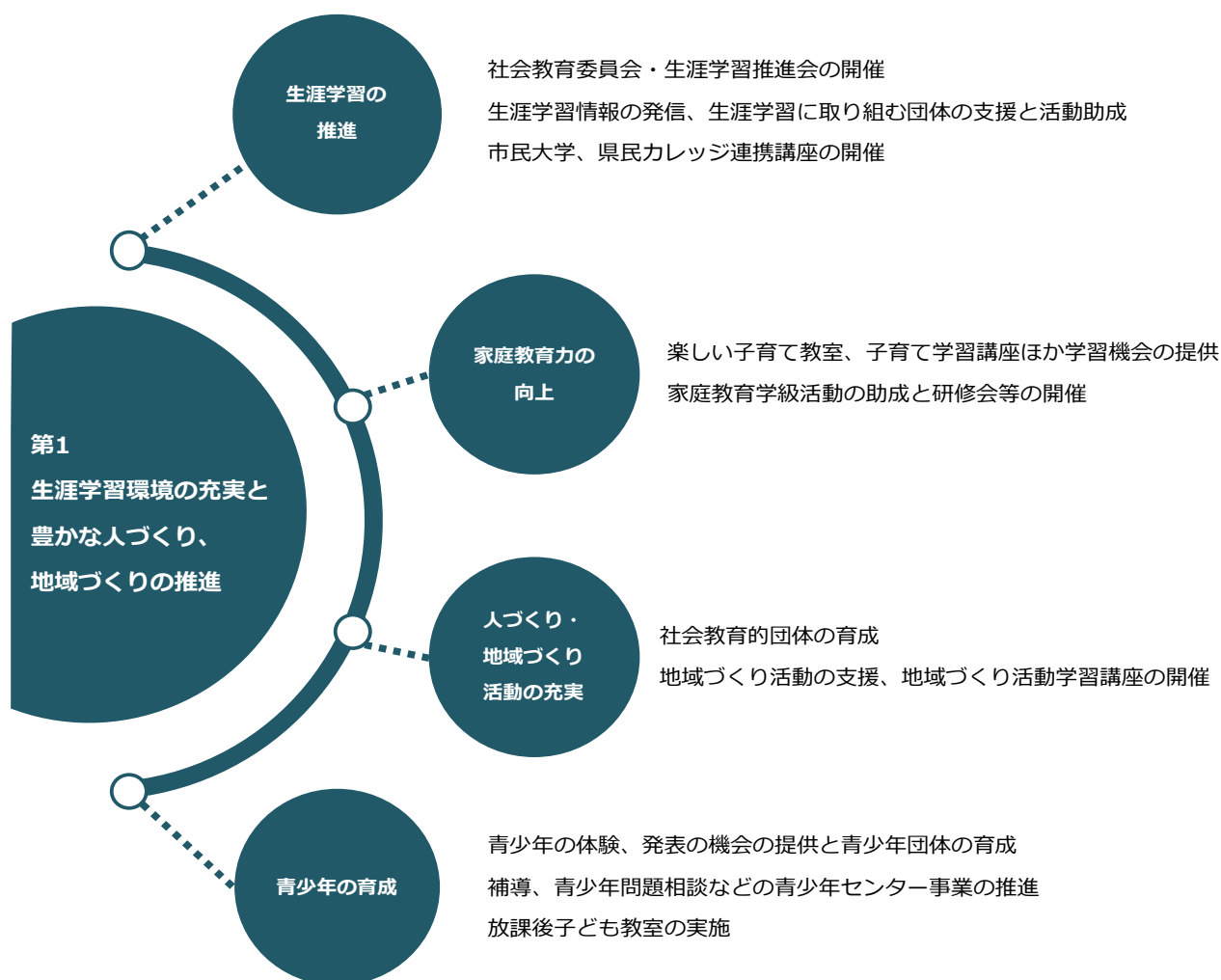
栄養充足率（年間平均）



社会教育

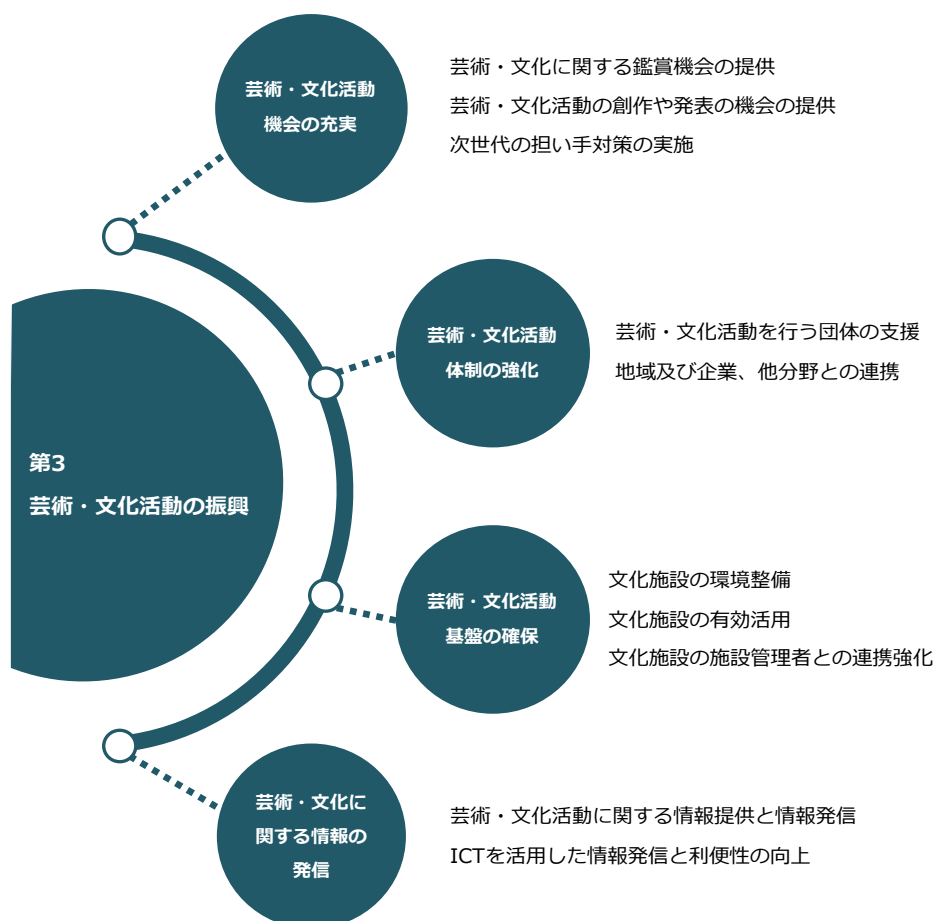
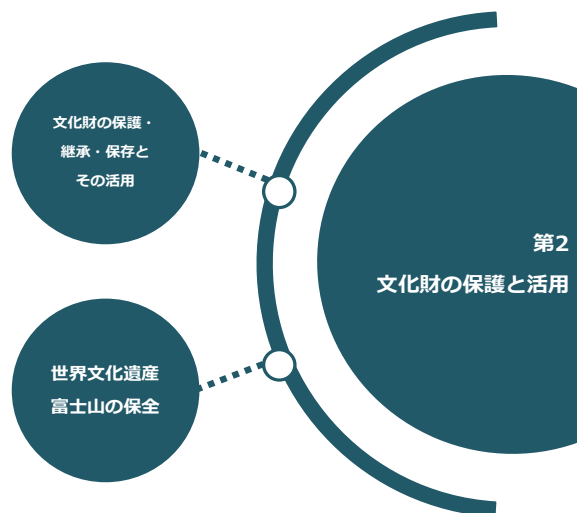
1 社会教育

① 主要事業



- ・文化財審議会の開催、指定文化財の保護・整備・活用、埋蔵文化財の発掘調査、出土品の保存、調査研究成果のまとめ（調査報告書等の発行）
- ・民俗資料の整理及び収蔵庫管理、富士山測候所関係資料の活用、阿部雲気流博物館資料の調査・活用
- ・郷土資料館の検討

- ・世界遺産富士山の保全を確固たるものにする活動・支援の充実



② 令和3年度事業一覧表

社会教育体制整備					
事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
社会教育委員会	豊かな人づくり地域づくりのための社会教育の施策を研究調査する。	4回		会議 研修	351
社会教育指導員の設置	社会教育の特定分野（相談・家庭教育・補導活動・団体育成など）について指導・支援にあたる。		年間	5人	10,535
社会教育担当者研修	社会教育担当者の資質向上を図る。		年間	研修 講習	-
社会教育調査	社会教育行政に必要な参考資料を整備し、調査体制を確立する。		年間	調査	-

生涯学習推進の推進					
事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
生涯学習推進会等運営事業	推進会で生涯学習の推進を図る。生涯学習ボランティアセンターの育成を図る。		年間	会議 研修	860
生涯学習啓発情報提供事業・学習相談事業	市民が生涯にわたり自主的に学習に取り組む気運を醸成するため、啓発活動を行う。		年間	みちしるべ 発行	-
みくりやの五×五（ジ・ゴ・）活動事業	生涯学習の定着・みくりやの五×五活動の拡大を図るため、市内各機関団体への助成を行う。		年間	生涯学習 奨励事業	90
視聴覚器材の管理・運営	多くの市民が視聴覚器材（DVD等）を学習活動等に利用しやすいように整備管理する。		年間	管理	-
市民大学講座	教養を高め豊かな精神を養うために、生涯にわたって学ぶ心を育てる。	5回	9月 ～ 1月	講座	415
富士山市民のサロン運営事業	市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進し、社会教育の推進を図るため、富士山市民のサロンの適切な管理・運営を行う。		年間	管理	47,194

家庭教育力の向上

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
家庭教育学級活動の推進	家庭で果たすべき役割を明確にし、問題意識をもった家庭教育学級の開設の奨励と意識の高揚を図る。	24学級	年間	指導 助言	963
家庭教育学級の 手引き発行 (ふじざくら)	家庭教育学級の記録を作成し学級振興の手引きとする。		6月	発行配布	142
家庭教育学級 運営委員研修会	望ましい運営のあり方の研修を行うと同時に、学級間の連絡調整を目的とする。	7回	4月 ～ 1月	研修	-
楽しい子育て教室	幼児の教育を中心に学習を進め、家庭教育の一助とする。	11回	5月 ～ 12月	学習	608
子育て学習講座 (親学)	小中学校の新入学児童生徒の保護者を対象に、その時期の子どもの特徴等を学習し家庭教育を見直す機会にする。	各校 1回	1月 ～ 2月	講座	30

人づくり・地域づくり

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
地域づくり活動 学習講座	地域づくり活動の指導者、あるいは実践者としての幅広い学習活動を支援するための研修を行う。	3回 程度	年間	講義	67
地域づくり活動主事 連絡会	地区公民館の主事の情報交換と、地域づくり活動を活発にするための研修活動を行う。		年間	座談研修	221
地域の文化・ 体育振興団体及び 地域団体の育成	地域の文化・体育団体及び地域づくり関係団体の支援を行う。		年間	補助金 指導助言	69,593
女性団体育成	女性団体活動への指導助言と各種の研修会や大会へ参加する。		年間	補助金 指導助言	643

青少年の育成

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年チャレンジ体験事業	小学生に体験活動を通じ、出会った仲間と協力し合い一つのことをやりとげる体験をする機会を提供する。		未定	日帰り研修 外	400
青少年団体育成	青少年の健全育成を図るため、団体活動を支援する。		年間	補助金 指導助言	308
わたしの主張 発表大会	小中学生が、日頃の生活の中で思っている事や体験したことなどについて、発表する場を設ける。		6月	発表大会	34
成人式	新成人を祝い励まし、成人としての自覚と御殿場市民としての誇りを高める。	1回	1月	式典	658

青少年の対策

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年問題協議会	青少年の指導、健全育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項を調査・審議する。	1回		会議 調査	201
青少年センター 運営懇話会等	青少年センター事業（補導・相談・環境浄化事業等）について総合的かつ効果的に推進できるよう、運営に関し専門的意見を聴取する。	1回		会議	18
青少年相談事業	青少年や保護者から相談を受け助言等を行う。		年間	電話 ・面接 ・相談	52
補導事業	学区・学校・PTA等から推薦された補導委員により不良行為等の早期発見と青少年への声掛けを行い、非行防止・事故防止を図る。		年間	街頭・ 一斉・ 校区・ センター補導	891
環境浄化事業	青少年のための良好な環境づくりのため、地域や事業所の協力のもとパトロール・立入調査等を実施する。		年間	立入調査 パトロール	-
放課後子ども教室 推進事業	放課後等の子どもの安全・安心な居場所づくりのため、運営委員会を設置、放課後子ども教室を実施する。		年間	会議 教室実施	3,409
青少年のための 科学の祭典 富士山大会inごてんば	青少年に実験や工作を通して科学の面白さ、不思議さを体験してもらい科学への興味を高める。		中止	体験事業	1,895
健全育成啓発活動	青少年健全育成のための啓発活動を推進し、家庭や地域等での教育機能を高める。		年間	キャンペーン 広報掲載	16
青少年健全育成会 連絡協議会	市内6地区の青少年健全育成組織が相互に連絡調整を図り、青少年の健全育成活動を全市的に展開する。		年間	会議研修 共催事業	150
市PTA連合会事業 補助金	PTA活動の支援及び育成を図る。		年間	活動費助成	131

文化財の保護と活用

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
文化財審議会	文化財に対する調査研究及び審議を すると共に、委員の資質向上を図 る。神社棟札調査を実施する。	4回	年間	会議 調査	378
埋蔵文化財調査	埋蔵文化財包蔵地等の確認調査及び 本発掘調査を必要により実施する。		随時	調査	77
神社棟札調査	市内各地区を順に調査し、神社や村 の歴史を記した棟札を調査し、報告 書を作成する。		年間	調査	-
文化財の保護と活用	指定及び国登録文化財（国5・県9・市 14・国登録4・国選択1）の保存公開・ 啓発活動並びに賞賜金を交付する。 市教育委員会所蔵資料等の保存公開 を実施する。		年間	保存 管理	1,972
民俗資料収蔵庫 管理・運営事業	民俗資料収蔵庫の管理及び資料整理 委託。隔年で燻蒸作業を実施する。		年間	保存 管理	2,483
世界遺産富士山の 保全	保全のための活動、支援事業を実施 する。令和3年度から、県、裾野市 と三者共同で須山口・御殿場口登山 道の巡礼路調査を実施する。		年間	会議 調査	57
印野の熔岩隧道 （丸尾苑）管理事業	丸尾苑の維持管理業務を行う。		年間	保全整備 管理	1,797

芸術・文化活動の振興

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
市民芸術祭	市民の芸術・文化に対する意識を高揚することを目的に、ステージ部門9部門、展示部門10部門、その他6部門において、ごてんば市民芸術祭を開催する。	25部門	年間	発表 展示 その他	1,935
文化芸術賞賜金	次世代の担い手である高校生世代の芸術・文化活動の振興を図るため、全国大会に出場した生徒に賞賜金を交付する。		年間	賞賜金	100
文化団体補助事業	自由で自発的な芸術・文化の振興と、芸術・文化活動のすそ野の拡大を図るため、文化協会への補助・助言等を行う。		年間	補助 助言	1,869
市民会館施設指定管理事業	御殿場市民会館の管理・運営に御殿場総合サービスグループを指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	113,087
東山旧岸邸指定管理事業	東山旧岸邸の管理・運営に株式会社虎玄を指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	24,750

指定管理施設の概要

①御殿場市民会館

所在地	御殿場市萩原183-1 TEL:0550-83-8000 FAX:0550-83-8003		
敷地面積	18,027㎡		
建築面積	4,283㎡ ホール棟：3,567㎡ / 会議棟：716㎡		
建物の構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 ホール棟：地下1階・地上5階 / 会議棟：地下1階・地上3階		
延床面積	7,795㎡ ホール棟：5,478㎡ / 会議棟：2,317㎡		
着工	ホール棟：昭和51年1月12日 / 会議棟：昭和52年10月1日		
竣工	ホール棟：昭和52年3月20日 / 会議棟：昭和53年3月25日		
指定管理者	御殿場総合サービスグループ		
令和2年度の利用状況	入館者 計59,768人 大ホール：11,808人 小ホール：9,875人 会議棟：38,085人		

②東山旧岸邸

所在地	御殿場市東山1082-1 TEL:0550-83-0747 FAX:0550-83-0778		
設計	吉田 五十八		
施工	水澤工務店		
敷地面積	5,669.17㎡		
建物の構造	本館 木造及び一部鉄筋コンクリート造 地上2階 展示研修棟 木造平屋建て		
延床面積	本館 567.66㎡（1階406.17㎡ / 2階161.49㎡） 展示研修棟 207.53㎡		
指定管理者	株式会社 虎玄		
令和2年度の利用状況	入館者 16,317人		

③ 指定・登録文化財

令和2年4月1日現在

国指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
天然記念物	駒門風穴	T11.3.8	駒門	駒門風穴保存会
天然記念物	印野の熔岩隧道	S2.4.8	印野(古印野) 印野(丸尾)	(一社) 印野郷土振興協会 御殿場市
特別名勝	富士山	S27.11.22	富士山	
史跡	富士山	H23.2.7	富士山	御殿場市（管理団体）
重要文化財	手焙形土器	S48.6.6	市役所	御殿場市

県指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
天然記念物	二枚橋の柏	S32.12.25	二枚橋	個人
史跡	深沢城跡	S35.2.23	深沢	御殿場市 （管理団体）
天然記念物	永塚の大杉	S35.2.23	永塚	永塚浅間神社
工芸品	刀銘（葵文）主水正藤原正清	S37.6.15	新橋	個人
天然記念物	宝永のスギ	S38.2.19	柴怒田	子之神社
天然記念物	川柳浅間神社の杉	S38.12.27	川柳	川柳浅間神社
工芸品	刀銘備州長船家重	S41.3.22	神場	個人
無形民俗文化財	沼田の湯立神楽	S42.10.11	沼田	沼田の湯立神楽 保存会

※天然記念物東山のサイカチは主幹折損のため令和2年12月8日指定解除

市指定				
指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
工芸品	善龍寺の喚鐘	S47.9.11	中畑	善龍寺
工芸品	二岡神社の灯籠	S47.9.11	二の岡	二岡神社
無形民俗文化財	鮎沢の祈祷三番	S48.12.24	鮎沢	鮎沢の祈祷三番 保存会
天然記念物	永塚のカシワ	S55.5.27	永塚	個人
天然記念物	駒門の大公孫樹	S55.5.27	駒門	駒門浅間神社
天然記念物	二岡神社の社叢	S62.3.3	二の岡	二岡神社
天然記念物	神山のタブノキ	H2.12.1	神山	個人
工芸品	光真寺の三十三体仏	H5.1.5	印野	印野区
建造物	林氏の長屋門	H5.1.5	上小林	個人
天然記念物	印野内山のヒノキ	H6.2.1	印野	小木原区
建造物	旧石田家住宅	H11.3.18	印野	御殿場市（農政課）
建造物	旧秩父宮御殿場御別邸	H12.3.27	東山 二の岡	御殿場市（公園緑地課）
工芸品	久成寺の鰐口	H12.8.1	清後	久成寺
科学技術	阿部雲気流博物館資料	R3.3.24	富士山樹空の森	御殿場市（社会教育課）

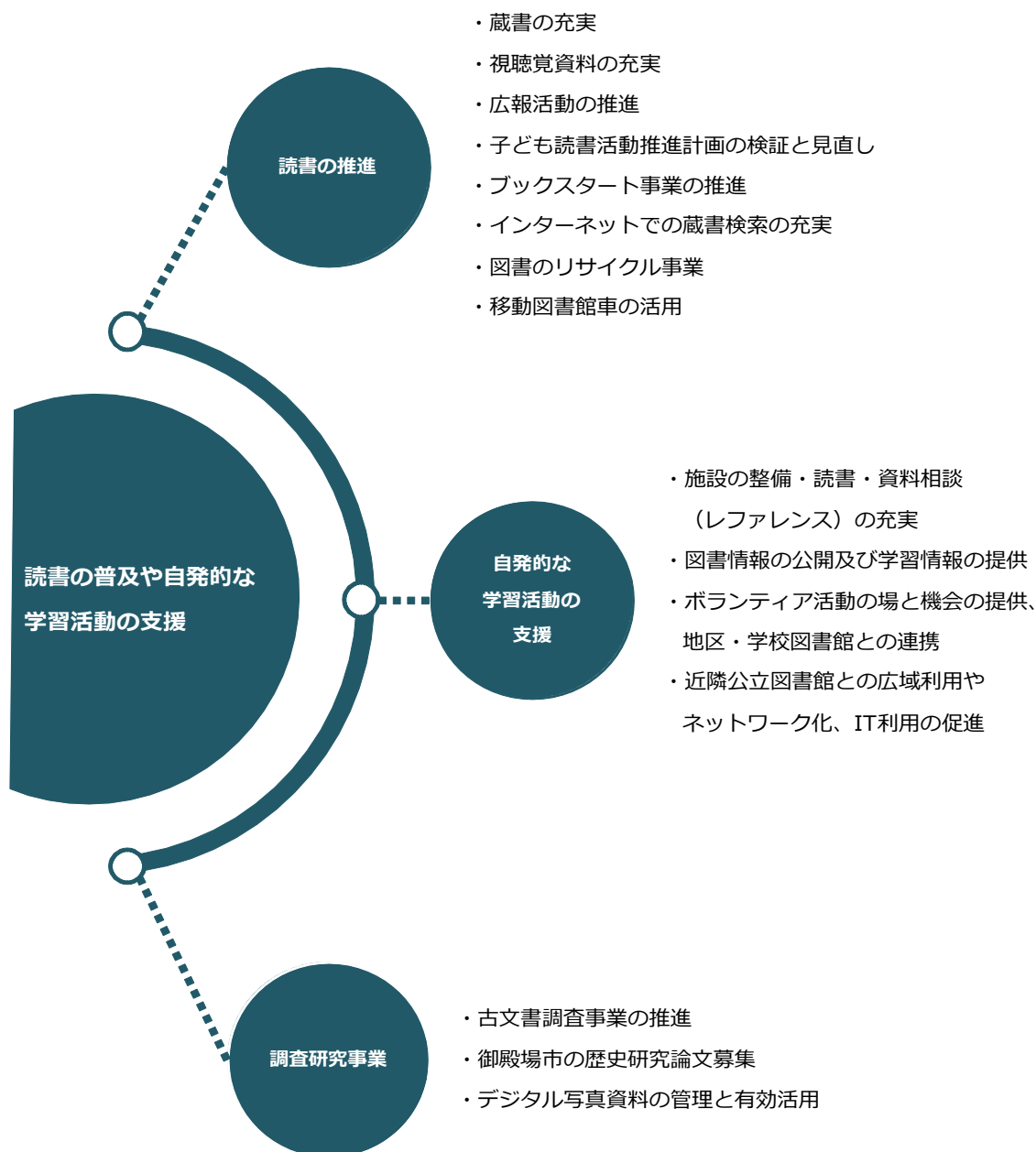
国登録				
指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
建造物	神山復生病院事務所棟	H18.3.2	神山	一般財団法人神山復生会 神山復生病院
建造物	富士カントリー倶楽部 クラブハウス	H24.2.23	東山	株式会社 富士カントリー倶楽部
建造物	YMCA東山荘フィッシャー館	R2.8.17	東山	公益財団法人 日本YMCA同盟
建造物	YMCA東山荘齊藤記念館	R2.8.17	東山	公益財団法人 日本YMCA同盟

国選択				
指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
無形民俗文化財	沼田の湯立神楽	H19.3.7	沼田	沼田の湯立神楽 保存会

2 図書館

あらゆる種類の知識や情報を利用者が入手できるよう「図書館の自由に関する宣言」と「ユネスコ公共図書館宣言 1994」を尊重し、主要事業を進めていきます

① 主要事業



② 令和3年度事業一覧表

事業名	内容	予算(千円)
読書推進及び利用の充実	図書の企画展示開催等、様々な機会をとらえて読書に親しむようPRする。特に5月のこども読書週間と11月の読書推進月間中は特別にPRする。 また、健康福祉部等と連携し、親子読書普及事業を推進する。図書の広域利用を近隣他市町と協力し推進する。	-
社会教育指導員の設置	社会教育の特定分野(中学生ボランティア・地方史研究等)について指導・支援にあたる。	-
ブックスタート事業	子育て支援、子どもの読書推進活動の一環として、保健センターの6か月児健診の受診者に絵本等を提供し、親子のふれあいと絵本へ親しみを深める。	859
子ども読書活動推進計画事業	「御殿場市子ども読書活動推進計画」によって会議を開催し、各種事業を実施する。	170
親子おはなしの会	幼児とその親を対象に絵本の読み聞かせ・紙芝居などを行い、本の楽しさを伝え、親子の読書週間を培う。	-
文学講座	文学を学ぶことにより、広く文化への理解を深め、より高度な学習や読書へ誘う。古典文学講座を開催。	40
文学散歩	文学作品に関する文学碑、史跡、資料館などを探訪する。	105
地方史研究の論文募集	図書館で収集した郷土資料等を活用し、御殿場市の歴史を調査研究した論文を募集する。応募作品を審査し、佳作以上の作品を令和3年度に「地方史研究」として書籍化し発表する。審査員は横浜国立大学名誉教授の松元宏氏。	242
統計グラフ教室	夏休み宿題相談コーナーの一環として、小学生が統計グラフのテーマの選択や資料収集の仕方、グラフの書き方などを学ぶ。	20
夏休み宿題相談コーナー	レファレンス業務の一環として、小中学生の宿題や総合的学習の相談にのり、適切な資料を紹介し援助する。	-
図書館資料等のリサイクル	除籍資料や市民からリサイクルを依頼された資料を希望者に無料で提供する。図書館まつりや生活フェアにもリサイクルボックスコーナーを設けて参加。	-

事業名	内容	予算(千円)
新図書館等整備事業	令和3年1月に策定した「図書館等整備基本構想」を基に、郷土資料館機能を持った新図書館を整備する。	90,457
中高生ボランティア及び体験学習	中高生が図書館業務を体験することにより、図書館サービスの理解を深める。	-
(※) 図書館ボランティアの会	図書館で子どもを対象に「おはなし広場」を開催し、絵本等の読み聞かせを行っている。 また、ブックスタート事業の運営に全面的に協力している。	135
(※) くろつぐみの会	視覚障害者に対する奉仕活動として、広報ごてんば・市議会だよりや図書の録音CD作成のほか、対面朗読を行っている。	45
(※) 古文書を読む会	御殿場市内に所在する古文書を整理・解読し地域の歴史を学び、その研究成果を発表している。	-

(※)図書館関係団体による自主運営事業

③ 施設の概要

(1)本館

所 在 地	御殿場市萩原 580 番地の 2 TEL:82-0391 FAX:82-0382		
敷 地 面 積	7,718.81 ㎡		
建 物 面 積	1,901.38 ㎡		
建 物 の 構 造	鉄筋コンクリート（一部鉄骨造） 2 階建		
延 床 面 積	2,382.86 ㎡ 1 階:1,829.92 ㎡ 2 階:518.63 ㎡ 3 階:34.31 ㎡		
着 工	昭和 55 年 9 月 14 日		
竣 工	昭和 56 年 8 月 31 日		

(2)富士岡地区図書館

所 在 地	御殿場市中山 435 番地の 1（市役所富士岡支所内） TEL:87-0976 FAX:87-0977		
床 面 積	42.12 ㎡		

(3)移動図書館

名 称	移動図書館車ライオンズ号			
車 両 の 概 要	車幅 216cm	車高 267cm	車長 618cm	排気量 4,000cc
積 載 冊 数	約 3,600 冊			
巡 回 場 所	市内 39 箇所（2 週間毎に巡回）			

(4)図書館の歩み

市立図書館は、市民の献本運動による寄贈図書をもとにして、昭和 45 年 11 月 10 日に社会教育会館（現在の保健センター所在地）の一部を改造し開館した。

蔵書の増加等により施設が手狭になり、老朽化もあって、昭和 56 年 11 月 3 日に新館を現在地に開館し、市民の資料・情報の場として幅広い分野の資料を収集し、サービスに努めている。富士岡地区図書館は、昭和 62 年 7 月より図書館サービスを開始した。

平成 12 年に視聴覚資料の館内視聴と貸出サービスを開始。平成 13 年に成人書架を増設し、蔵書能力の向上と資料を探しやすい・使いやすい図書館を目指した。

平成 19 年 3 月に「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書の機会の増加に努めている。

移動図書館車による巡回サービスは、昭和 46 年 4 月 26 日に開始し、図書館の全域サービスを図ってきた。現在の移動図書館車は 5 台目、平成 23 年 12 月に更新し、市内 40 箇所を 2 週間かけて巡回している。施設の老朽化や市民ニーズの多様化に伴い、平成 28 年度から将来構想策定庁内検討委員会を立ち上げ、平成 30 年度まで問題点を整理し方向性をまとめてきた。令和元年度から令和 2 年度まで、「図書館等整備基本構想策定懇話会」を開催し、市民の意見を反映させた「図書館等整備基本構想」を策定した。今後は、この基本構想を基に新図書館等整備事業を進めていく。

④ 所蔵資料

(1) 図書		(2) その他の資料	
種類	所蔵冊数	種類	点数
(a)一般図書	189,351	雑誌	115種
0総記	9,807	新聞	19紙
1哲学	7,998	CD	1,058枚
2歴史	19,203	ビデオテープ	19巻
3社会科学	29,079	カセットテープ	2巻
4自然科学	12,519	DVD	1,320本
5工学	8,115	点字図書	113タイトル
(59)家事	5,680	視覚障害者用録音図書	231タイトル
6産業	5,265		1,226巻
7芸術	15,136		
8言語	3,519		
9文学	73,030		
(b)児童図書	64,157		
児童図書	37,503		
絵本	25,086		
紙芝居	1,568		
(c)郷土資料	22,863		
(d)外国語図書	1,471		
合計(a)+(b)+(c)+(d)	277,842		

令和3年3月末現在

⑤ 令和2年度の利用状況

(1) 利用者数・貸出冊数

区分	開館日数	入館者	利用者
本館	277	125,239	60,921
地区図書館	176	2,253	1,803
移動図書館	175	12,449	3,118
合計		139,941	65,842

区分	貸出冊数(冊)					
	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	計
本館	152,349	152,178	570	13,631	7,482	326,210
地区図書館	3,414	4,719	4	549	0	8,686
移動図書館	4,713	17,651	12	1,174	1	23,551
合計	160,476	174,548	586	15,354	7,483	358,447

(2) 貸出冊数の資料種別の比率

(%)

区分	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	計
本館	46.70	46.65	0.18	4.18	2.29	100
地区図書館	39.30	54.33	0.05	6.32	0	100
移動図書館	20.01	74.95	0.05	4.98	0.01	100
合計	44.77	48.69	0.16	4.28	2.10	100

(3) 1日平均入館者・利用者・貸出冊数

区分	入館者(人)	利用者(人)	貸出冊数(冊)
本館	452	220	1,178
地区図書館	13	10	49
移動図書館	71	18	135
合計	536	248	1,362

(4) 年代別登録者数及び比率

区分	登録者数(人)	比率(%)
0～12歳	3,620	7.0
13～15歳	2,009	3.9
16～18歳	2,198	4.3
19～29歳	8,466	16.4
30～39歳	8,307	16.1
40～49歳	10,171	19.7
50～59歳	6,992	13.6
60歳以上	9,771	19.0
合計	51,534	100.0

(5) その他の利用者統計

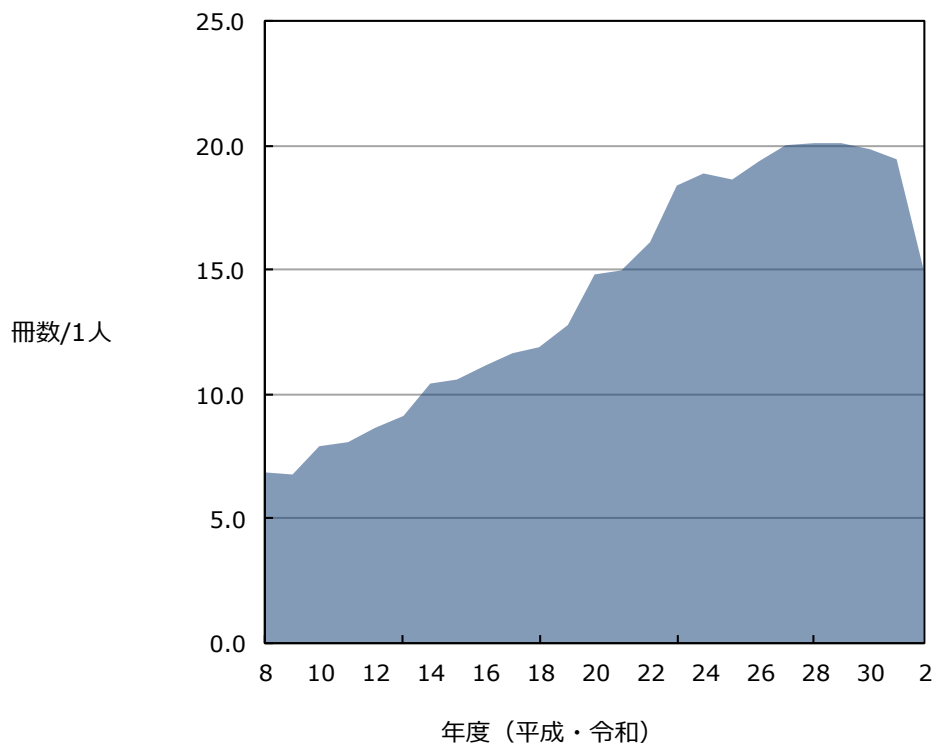
事業名称	利用実績等	実施月日	参加人数
親子おはなしの会	13回開催(4～10月は中止)	毎月第2・4水曜日外	90人
おはなし広場	25回開催(4～10月は中止)	毎週土曜日	172人
文学散歩	中止	-	-
古典文学講座	講師 菊地 治彦 氏	1月30日	18人
	古典無責任講座	2月6日	
	「伊勢物語～恋愛上等、昔男の一代記～」	2月13日	
統計グラフ教室	中止	-	-
図書館まつりウィーク	イラスト原画展、おはなし会、 児童図書のリサイクル等	11月3日 ～ 11月8日	3,820人
複写サービス	受付件数 357件/2,508枚	年間	-
予約・リクエスト件数	受付件数 7,187件	年間	-
レファレンス質問 受付件数	受付件数 3,556件 (対面3,224件・電話332件)	年間	-
視聴覚コーナー利用件数	受付件数3件	4月18日から利用中止	-
リサイクルブックスコーナー実績	3密を避けるため、常設とした 提供冊数4,574冊	7月21日から常設	-
視覚障害者用朗読テープ作成	広報ごてんば、市議会だより外 (録音テープ作成)	年間	16人 (提供者)
ブックスタート	23回(6か月健診時に実施)	毎月第1・3水曜日	521組

(6) 他図書館との相互貸借利用冊数

区分	国立国会 図書館	県立中央 図書館	他市町村 図書館	大学・専門 図書館	県外公立 図書館	合計
借受冊数	3	107	732	19	0	861
貸出冊数	0	17	430	0	8	455
合計	3	124	1,162	19	8	1,316

(7) 児童図書貸出冊数の年次推移

年度 (平成・令和)	児童図書 貸出冊数	0-14歳人口 (10月1日時点)	冊数/1人
8	98,054	14,345	6.8
9	95,392	14,106	6.8
10	109,862	13,867	7.9
11	109,960	13,628	8.1
12	115,210	13,388	8.6
13	122,605	13,438	9.1
14	140,072	13,488	10.4
15	143,121	13,538	10.6
16	151,935	13,588	11.2
17	159,049	13,640	11.7
18	161,903	13,665	11.8
19	174,448	13,689	12.7
20	203,550	13,714	14.8
21	206,021	13,738	15.0
22	221,207	13,763	16.1
23	251,224	13,670	18.4
24	256,587	13,576	18.9
25	250,984	13,483	18.6
26	259,132	13,389	19.4
27	266,587	13,296	20.1
28	263,008	13,078	20.1
29	257,547	12,816	20.1
30	248,355	12,503	19.9
元	234,710	12,050	19.5
2	174,548	11,619	15.0



資料

I 事業年譜

※平成29以前の事業年譜につきまして、平成30年度発刊の「御殿場市教育のあゆみ」をご参照下さい

平成 30 年度		
30.	7.12	食物アレルギー対応給食「ごてんばこめこカレー」の日実施
	7.26	御殿場市教育フォーラム 2018 開催
	8	デジタルミュージアム「御殿場資料館」を市ホームページで公開
	11.3	第 1 回総合教育会議開催
	11.6	図書館まつり開催
	11.30	食物アレルギー対応給食ごてんばこめこハヤシの日実施
	12.16	「富士山の麓で歌う第九演奏会」開催
31.	1.24~28	食物アレルギー対応給食「ごてんばこめこカレー」の日実施(3 日間)
	1.27	第 15 回生涯学習のつどい「ごてんばDONDON」開催
	3.15	高根地区児童屋内体育施設改修工事完成
	3.31	「御殿場市教育のあゆみ」刊行 教育長勝又將雄任期満了につき退任
令和元年度		
01.	6.8	令和改元記念事業 第 41 回御殿場市わたしの主張発表大会開催
	7.9	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	7.17~8.31	夏休み宿題相談コーナー開設
	7.25	御殿場市教育フォーラム 2019 開催
	8.26	第 1 回総合教育会議開催
	8.27	第 1 回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	9.18	国立中央青少年交流の家 60 周年記念式典
	11.3	図書館まつり
	11.22	第 2 回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	11.25~26	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	11.29	第 2 回総合教育会議
02.	1.28	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」
	1.31	西中学校校舎改築工事 完成
	2.16	令和改元記念事業 第 10 回青少年のための科学の祭典富士山大会inごてんば開催
	3.18	小中学校空調設備整備工事 完成
	3.24	第 3 回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催

令和2年度		
02.	6.19	第4回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	7.9~10	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	7.13	第5回御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会開催
	7.14~8.31	夏休み宿題相談コーナー開設、夏休み読書ラリー、パスファインダー
	8.26	第1回総合教育会議
	11.3~11.8	図書館まつりウィーク
02.	11.18~20	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」
	11.20	第2回総合教育会議
	12.21	西中学校 既存校舎解体工事 完了
03.	1	御殿場市立図書館等整備基本構想策定
	1.10	令和3年成人式(Web開催)
	1.27~29	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」
	3.16	朝日小学校 校舎改修工事 完成
		南中学校 校舎改修工事 完成
	3.24	御殿場市指定文化財新規指定(阿部雲気流博物館資料)

2 各種委員名簿

富士岡中学校学校運営協議会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	荏田 五十彦	地域住民	9	委員	山崎 信一	地域住民
2	委員	中村 孝信	地域住民	10	委員	土屋 芳光	地域住民
3	委員	成澤 喜久代	地域住民	11	委員	杉山 隆	地域住民
4	委員	磯邊 壽慶	学識経験者	12	委員	根岸 政雄	地域住民
5	委員	内藤 成彦	学識経験者	13	委員	篠原 武志	保護者
6	委員	勝亦 英樹	地域住民	14	委員	鷹野 岳美	保護者
7	委員	勝又 正人	地域住民	15	委員	飯塚 誠	校長
8	委員	長田 利一	市職員				

御殿場市立学校設置審議会委員 任期2年（令和2年4月1日～令和4年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	福島 英子	校長会	8	委員	中村 康雄	知識経験者
2	委員	小宮 隆	校長会	9	委員	披田野 克夫	知識経験者
3	委員	芹澤 照平	校長会	10	委員	永井 伸明	知識経験者
4	委員	勝間田 敏弥	PTA連合会	11	委員	立道 和策	知識経験者
5	委員	篠原 武志	PTA連合会	12	委員	勝間田 喜輔	知識経験者
6	委員	中村 栄一	区長会	13	委員	土屋 英次	知識経験者
7	委員	増倉 俊助	知識経験者				

御殿場市就学支援委員会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	呷野 清恵	医師会代表	9	委員	江間 紀子	学校関係者
2	副委員長	杉山 道博	学校関係者	10	委員	望月 尚美	幼稚園保育園関係者
3	委員	勝又 佳子	知識と経験を有する者	11	委員	芹澤 久美	幼稚園保育園関係者
4	委員	山下 智美	学校関係者	12	委員	小林 寿々代	家庭相談員
5	委員	勝村 由加利	学校関係者	13	委員	三崎 可南子	市職員
6	委員	持田 晃寿	学校関係者	14	委員	鈴木 可奈	市職員
7	委員	中西 直子	学校関係者	15	委員	菅沼 大祐	市職員
8	委員	芹澤 幸一	学校関係者				

御殿場市就園支援委員会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	田内 守之	医師会代表	6	委員	山下 智美	学校関係者
2	副委員長	望月 尚美	幼稚園保育園関係者	7	委員	小林 寿々代	市職員
3	委員	伴野 知恵	知識と経験を有する者	8	委員	鈴木 菜美子	市職員
4	委員	江口 純子	幼稚園保育園関係者	9	委員	鈴木 可奈	市職員
5	委員	藤本 知美	学校関係者	10	委員	田代 律子	市職員

御殿場市いじめの防止等対策推進委員会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	太田 正義	大学教員	4	委員	菅沼 大祐	臨床心理士
2	副委員長	内海 雅秀	弁護士	5	委員	中村 信生	社会福祉士
3	委員	齋藤 昌一	医師				

御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	横溝 千都生	学校関係者	15	委員	高橋 伸明	学校関係者
2	副会長	内海 隆治	北駿保護司会	16	委員	大庭 佳孝	学校関係者
3	委員	山田 仁志	御殿場警察署 生活安全課	17	委員	良知 隆	学校関係者
4	委員	押尾 直美	東部児童相談所	18	委員	沢田 眞輝	学校関係者
5	委員	大胡田 幸子	民生児童委員協議会	19	委員	芹澤 速水	学校関係者
6	委員	砂山 孝一	要保護児童対策 地域協議会	20	委員	勝又 慎之輔	学校関係者
7	委員	山崎 和夫	御殿場市 青少年センター	21	委員	竹内 康裕	学校関係者
8	委員	川崎 寿	市職員	22	委員	九島 宏樹	学校関係者
9	委員	藁科 泰裕	学校関係者	23	委員	真鍋 磨央	学校関係者
10	委員	友光 優治	学校関係者	24	委員	金原 昂平	学校関係者
11	委員	宮本 敬介	学校関係者	25	委員	小宮山 恭平	学校関係者
12	委員	岡崎 信一	学校関係者	26	委員	小越 隆則	主席指導主事
13	委員	勝間田 辰也	学校関係者	27	委員	平松 祐	指導主事
14	委員	村上 智洋	学校関係者				

御殿場市学校結核対策委員会委員 任期2年（令和2年4月1日～令和4年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	齋藤 昌一	医師会代表	5	委員	安間 剛	御殿場保健所長
2	副委員長	岩田 祥吾	医師会代表	6	委員	長房 浩	学校関係者
3	委員	安田 敏男	医師会代表	7	委員	中野 美由紀	学校関係者
4	委員	中川 靖夫	医師会代表	8	委員	勝又 良衣	市職員

御殿場市立学校専門相談医制度運営懇話会構成員 任期2年（令和2年4月1日～令和4年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	構成員	岩田 祥吾	医師会代表	4	構成員	江口 由美	学校関係者
2	構成員	前田 隆寛	医師会代表	5	構成員	田代 学	市職員
3	構成員	福島 英子	学校関係者	6	構成員	小越 隆則	市職員

学校専門相談医一覧表

令和3年6月1日現在

産婦人科	整形外科医	脳神経外科	皮膚科医	精神科 (心療内科)
五十嵐 辰博	渡辺 幸雄	勝田 洋一	志水 達也	飛澤 彰
勝間田 實	鈴木 英之	前田 隆寛	富井 直子	
牧野 恒久				
朱 丞華				

学校名	内科医	耳鼻科医	眼科医	歯科医	薬剤師
御殿場小学校	勝又 厚 西田 四郎	斉藤 彰治	石川 友昭	豊山 篤 渡邊 栄一郎 杉山 良夫	原 久昌
東小学校	江島 経子	斉藤 彰治	石川 友昭	渡辺 孝 土屋 聡	芹澤 尚子
御殿場南小学校	西田 四郎 田内 守之	斉藤 彰治	石川 友昭	勝又 修 佐藤 栄樹	勝間田 あけみ
富士岡小学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	緒方 正史	斉藤 衛 三浦 文嗣	長田 進
神山小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	谷中 満 稲葉 一嘉	滝口 秀之
原里小学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	緒方 正史	梶本 弘 大庭 礼之	原田 義信
朝日小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	長島 喜久 岩瀬 啓子	武田 三千代
玉穂小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	梶本 智子 石田 雅彦	原 久昌
印野小学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	緒方 正史	杉山 有一	勝間田 尚
高根小学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	江本 月美	杉山 博昭
御殿場中学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	野田 光子 渡邊 栄一郎	芹澤 尚子
南中学校	安田 敏男	斉藤 彰治	石川 友昭	園田 正敏 瀧川 妙子	高橋 忠資
富士岡中学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	緒方 正史	矢後 博次 江塚 孝子	太田 祐治
原里中学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	緒方 正史	石川 春人	原田 義信
西中学校	渡辺 幸雄	斉藤 彰治	石川 友昭	羽田 康叙	原 久昌
高根中学校	江島 光彦	斉藤 彰治	石川 友昭	杉山 良夫	杉山 ゆかり
御殿場幼稚園	勝又 厚			渡辺 孝	
富士岡幼稚園	齋藤 昌一			斉藤 衛	
竈幼稚園	齋藤 昌一			大津 昌一	
原里幼稚園	安田 敏男			矢後 博次	
玉穂幼稚園	西田 四郎			梶本 智子	
原里西幼稚園	安田 敏男			岩瀬 啓子	
森之腰幼稚園	田内 守之			羽田 康叙	

御殿場市立学校給食センター運営委員会委員名簿 任期1年（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	長房 浩	御殿場南小学校長	10	委員	勝間田 葵	玉穂小学校 PTA副会長
2	委員	長澤 広志	神山小学校長	11	委員	野島 麻衣子	原里小学校 PTA副会長
3	委員	小林 徹	高根中学校長	12	委員	鈴木 奈々	御殿場南小学校 PTA副会長
4	委員	飯塚 誠	富士岡中学校長	13	委員	青木 早希	神山小学校 PTA副会長
5	委員	勝又 厚	お八幡医院	14	委員	永野 まどか	朝日小学校 PTA副会長
6	委員	富井 明望	富井医院	15	委員	藤曲 元樹	南中学校 PTA副会長
7	委員	稲葉 一嘉	駿東歯科医師会	16	委員	土屋 伸人	原里中学校 PTA副会長
8	委員	長田 進	北駿薬剤師会	17	委員	畠中 仁	御殿場保健所 衛生業務課長
9	委員	横尾 唯	御殿場小学校 PTA副会長	18	委員	杉山 一雄	食品衛生協会 理事

御殿場市社会教育委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	福島 英子	学校教育	8	委員	後藤 晃子	学識経験者
2	委員	川内 豊	学校教育	9	委員	勝又 康次	学識経験者
3	委員	山下 清春	社会教育	10	委員長	小澤 徳也	学識経験者
4	委員	川口 修江	社会教育	11	委員	勝間田 清次	学識経験者
5	委員	良知 不二子	社会教育	12	委員	勝又 栄子	学識経験者
6	委員	鎌野 美子	社会教育	13	委員	山本 千鶴	学識経験者
7	委員	濱田 宏美	学識経験者	14	副委員長	杉山 葉子	学識経験者

文化財審議会委員 任期2年（令和2年4月1日～令和4年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	土屋 俊光	玉穂地区	7	委員	渡辺 好洋	原里地区
2	副委員長	瀬戸 利満	富士岡地区	8	委員	内海 信吾	原里地区
3	委員	池谷 博文	御殿場地区	9	委員	山川 志典	原里地区
4	委員	岩澤 良充	御殿場地区	10	委員	石田 春夫	印野地区
5	委員	藤方 慶子	御殿場地区	11	委員	高村 典子	高根地区
6	委員	土屋 共榮	富士岡地区	12	委員	土屋 英俊	高根地区

専 門 委 員

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	専門委員	柳井 康弘	平成24年4月1日～	2	専門委員	池谷 岩夫	平成30年4月1日～

青少年問題協議会委員 任期2年（令和2年4月1日～令和4年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	若林 洋平	市長	11	委員	高木 義純	民生委員 児童委員協議会
2	委員	土屋 光行	市議会 福祉文教委員会	12	委員	鎌野 純一	ライオンズクラブ
3	委員	高橋 史郎	商工会	13	委員	遠山 佳秀	市青少年健全育成会 連絡協議会
4	委員	金光 美佐子	市婦人会連絡協議会	14	委員	植埜 達郎	市PTA連合会
5	委員	山下 清春	社会教育課	15	委員	北條 竜士	市子ども会世話人連合会
6	委員	永山 郁道	青少年補導委員長	16	委員	藤曲 敏春	ボーイスカウト
7	委員	横溝 千都生	市校長会	17	委員	長田 トミ子	ガールスカウト
8	委員	川内 豊	市内高等学校	18	委員	梅津 孝一	国立中央青少年 交流の家
9	委員	細谷 良則	市区長会	19	委員	眞野 義文	御殿場警察署長
10	委員	杉山 敏久	北駿地区保護司会	20	委員	金子 裕	御殿場健康福祉 センター所長

放課後子どもプラン運営委員会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	勝又 康次	放課後児童育成会	9	委員	勝間田 清次	知識と経験を有する者
2	委員	高田 伸子	放課後児童育成会	10	委員	滝口 兼光	知識と経験を有する者
3	委員	柏木 孝紀	保護者の代表	11	委員	上杉 智彦	学校関係者
4	委員	西島 尚美	保護者の代表	12	委員	柴田 勝好	学校関係者
5	委員	望月 智恵子	知識と経験を有する者	13	委員	木島 直久	教育委員会職員
6	委員	高木 節江	知識と経験を有する者	14	委員	上道 幸胤	福祉事務所職員
7	委員	小松 正江	知識と経験を有する者	15	委員	平松 祐	教育委員会職員
8	委員	本崎 肇	知識と経験を有する者				

青少年センター運営懇話会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	座長	勝亦 重夫	教育長	8	構成員	横溝 千都生	市校長会
2	副座長	永山 郁道	青少年補導委員	9	構成員	竹内 康裕	市生徒指導部
3	構成員	斉藤 寛志	青少年補導委員	10	構成員	高橋 伸明	市生徒指導部
4	構成員	山田 仁志	御殿場警察署	11	構成員	渡邊 祥雄	高等学校
5	構成員	高橋 忠資	北駿薬剤師会	12	構成員	平松 祐	学校教育課
6	構成員	長島 晃一	商業振興協同組合	13	構成員	渡邊 恵司	子育て支援課
7	構成員	勝亦 敦志	市立図書館 図書納入組合				

図書館協議会委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	佐藤 沙織	学校教育に関係する者	6	委員	古賀 啓子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
2	委員	長田 光絵	学校教育に関係する者	7	委員	勝又 将雄	学識経験のある者
3	委員	勝又 昭雄	社会教育に関係する者	8	委員	福島 英子	学識経験のある者
4	委員	勝間田 清次	社会教育に関係する者	9	委員	瀬戸 武生	学識経験のある者
5	委員	岩田 いずみ	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	10			

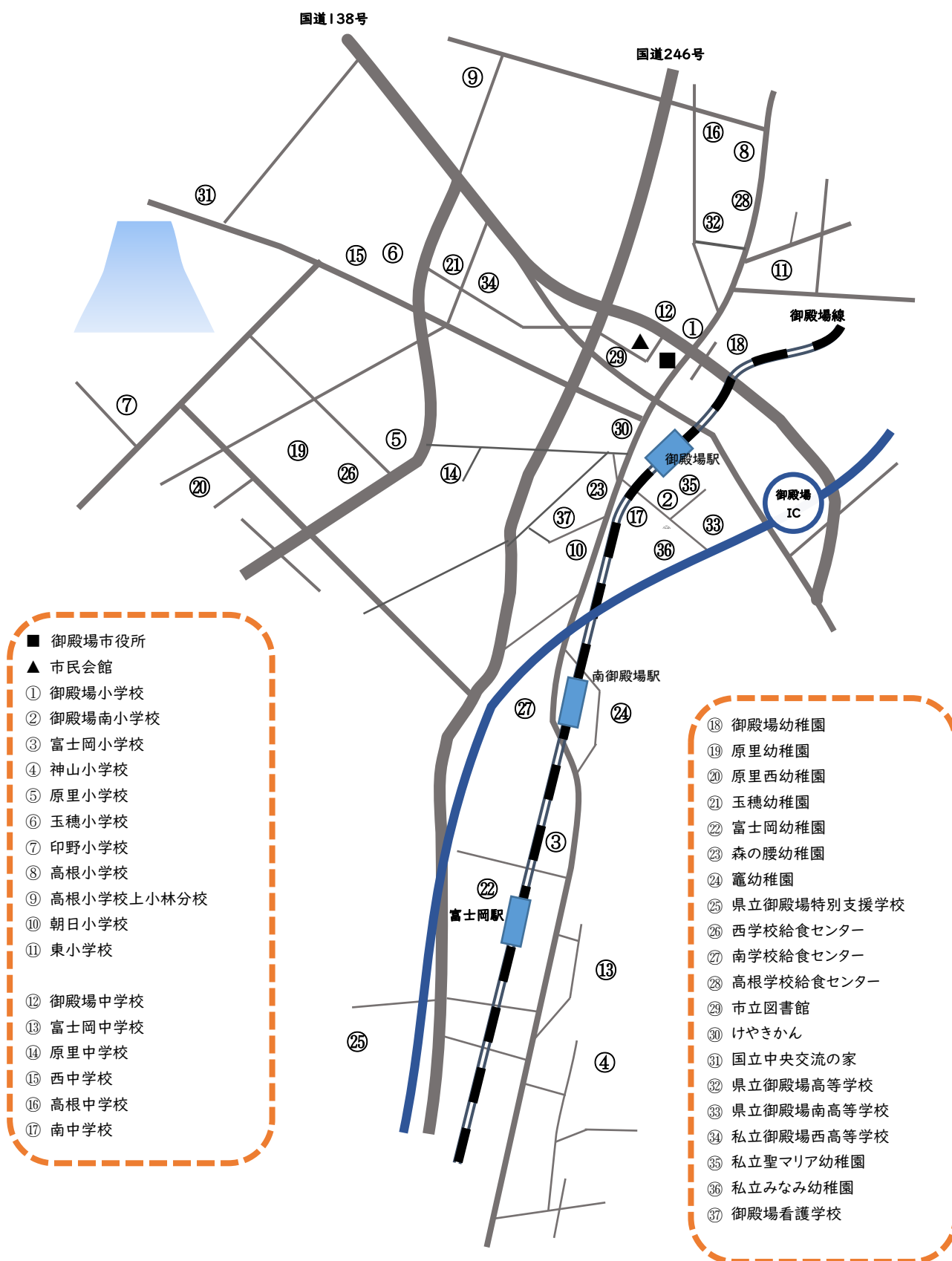
御殿場市子ども読書活動推進会議委員 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	勝俣 明日香	公募による者	8	委員	長田 光絵	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
2	委員	鈴木 治子	公募による者	9	委員	佐藤 沙織	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
3	委員	勝間田 なをみ	市民活動団体に属する者	10	委員	山本 舞	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
4	委員	会津 志穂	市民活動団体に属する者	11	委員	馬場 絢子	市内小・中学校司書教諭 及び特別支援教育担当教諭
5	委員	浜田 宏美	市民活動団体に属する者	12	委員	勝間田 敏弥	市内小・中学校 PTA代表
6	委員	加藤 千恵子	市民活動団体に属する者	13	委員	杉山 直樹	市内幼稚園・保育所 認定こども園保護者会代表
7	委員	芹沢 則子	市民活動団体に属する者	14	委員	望月 美華	市内幼稚園・保育所 認定こども園保護者会代表

御殿場市子ども読書活動推進会議専門部会 任期2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

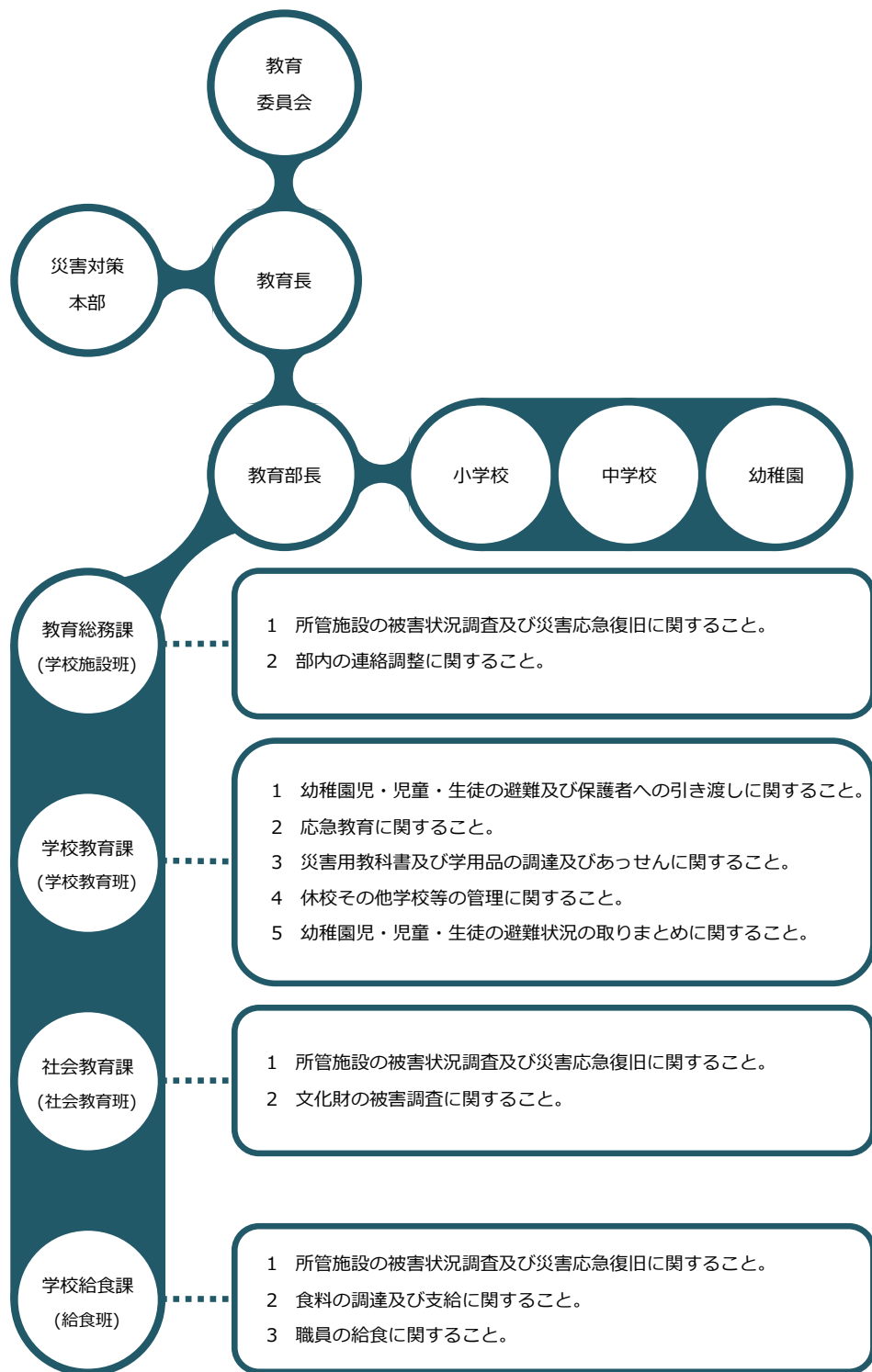
No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	勝又 洋平	市職員	9	委員	芹澤 春那	市職員
2	委員	山下 麻紀子	市職員	10	委員	鈴木 文	市職員
3	委員	鈴木 恭之	市職員	11	委員	伊藤 昭子	市職員

3 教育施設位置図



4 防災計画

御殿場市地域防災計画は、災害対策基本法第42条の規定に基づき、市における災害対策全般に関し、市の処理すべき事務を中心として防災関係機関を含めた総合的な防災計画です。この計画では、市民の生命財産を災害から保護するとともに、積極的に災害の拡大防止と被害の軽減に努め、防災の万全を期することを目的としています。



御殿場の教育 令和3年度

編集 御殿場市教育委員会
〒412-8601 静岡県御殿場市萩原 483 番地
TEL0550-82-4520 FAX0550-82-4525

表紙作品 水口千令（紙切り作家）